

玉名市総合計画 後期基本計画進捗状況報告

(主要施策の概要に係る平成26年度末の進捗状況報告)

平成27年10月
玉名市役所 企画経営課

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成26年度末の状況)[H27年度9月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項(H26年度末の状況)														
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明(H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)											
							項目	内容										
1	1	1	1	広域交通ネットワークの整備	1	11111	玉名バイパスは、今後、交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進していきます。	玉名バイパスは、今後交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進する。	6. 未着手	未着手の理由 平成23年3月の暫定2車線の将来交通量等を考慮しながら、事業着手については十分検討する必要があるため。								
						11121	今後も利便性の高いアクセス道路の整備に努めます。	新玉名駅や新幹線の利用者増加を図るため、県道・市道を含め利便性の高いアクセス道路の整備に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 新玉名駅への利便性向上のため、周辺道路の整備促進については、県道の玉名立花線等道路期成会などの要望活動により、玉名バイパス以南の具体的なルート案についての検討が進められた。								
						11122	県道(仮称東西道路)については、早急に県道玉名八女線まで接続できるように県との連携を強化し、整備を促進していきます。	新玉名駅から県道玉名八女線にアクセスする県道(仮称東西道路)は、計画延長約950mのうち約500mを供用中、残りの450mも早期完成に向け促進する。	1. 達成(完了)	状況の説明 新玉名駅への利便性向上のため、周辺道路の整備促進を図った。県道の仮称東西道路については、平成27年3月に計画延長950mが完成した。								
						11131	利便性が高く持続可能な交通体系の構築を目指す。	平成24年度中に、地域公共交通総合連携計画を策定する。平成25年度以降は、当該計画に基づき公共交通の再編成を実施し、効率的で利便性が高い公共交通体系の構築を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 市内バス路線廃止により、より広域をカバーするための乗合タクシー制度を平成25年10月から導入した。								
						11141	広域幹線道路である国道や県道については、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開します。	広域幹線道路である国道や県道は、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開する。	8. 評価不能	評価不能の理由 国道や県道などの道路整備に関する事業促進については、事業が多岐に亘るため、一概に評価することが難しいため。								
						11151	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の熊本市～大牟田市間については、候補路線から「計画路線」への指定に向けた積極的な要望活動を展開します。	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の「計画路線」への指定に向け要望活動を展開する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 期成会による地道な要望活動が功を奏して、大牟田三池ICから長洲町までの区間の事業化が決定した。今後も残る路線の事業化に向けた要望活動を行っていく。								
						2	2	1	生活道路網の整備	11211	本市の都市計画に関する基本的な方針を示すため、『都市計画マスタープラン』を策定します。	計画期間(平成23～平成25年度)中において、都市計画区域再編後の新たな都市計画マスタープランを策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成26年3月に都市計画区域再編後の都市計画マスタープランを策定した。				
										11221	都市計画道路の整備は、平成19年度に見直し都市計画道路網の整備計画に沿って計画的、効率的に実施します。	都市計画道路の整備は、現在、66.14%の整備率である。残る未整備路線は、計画的・効率的に整備を進める。また、隣接市町を跨る路線の整備の可否について、関係市町と調整中であるため、平成25年度中に方向性を決定する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 都市計画道路については、引き続き計画的・効率的に整備促進を行っていく。また、荒尾・玉名・長洲の3都市計画区域に跨る広域幹線道路の見直しについては、高規格道路の有明海沿岸道路の事業化への進展が見られたため、再度、将来交通量等を踏まえた見直し検討が必要との判断となったため具体的な結論に至らなかった。				
										11231	国道208号から市民会館を經由し温泉地区を結ぶ市道立願寺横町線は、平成24年度末の全線供用開始を目指して整備します。	市道立願寺横町線は、本市の中心市街地を形成する「玉名温泉地区」と「高瀬地区」を結び、沿線には国の合同庁舎、市民会館や新庁舎の建設予定位置などの公共施設が集積する重要な幹線道路であり、施工延長585m(外1線含)の整備を進める。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成24年3月に施工延長585m(外1線含)の整備が完了し、全延長1,330mの供用を開始した。				
										11241	平成27年度末全線供用開始を目標に市道岱明玉名線を整備します。	市道岱明玉名線は、国の予算削減に伴い完成目標年度が平成27から平成30年に変更となる。関係機関とも協議を行いつつ一部工事も実施している。	4. 進行中(前半)	状況の説明 起点部である県道長洲玉名線との交差点を整備した。				
										11251	市道玉名駅平嶋線の整備を検討します。	市道玉名駅平嶋線は、玉名バイパスと国道208号線の南北を結ぶ幹線道路として位置づける路線であり、平成23年度の新玉名駅の開業や玉名バイパス開通による都市環境や交通環境の変化等も踏まえ、事業の必要性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由 平成23年度の新玉名駅の開業や玉名バイパス開通による交通環境の変化や県が施工する境川改修計画の進捗状況を踏まえ、事業着手については、必要性を十分検討する必要があるため。				
										11261	危険性が高いJR踏切の拡幅改良については、JR九州と協議のうえ、道路改良と一体的に推進します。	現在砂天神踏切及び歳の神踏切について、JRと協議を進め拡幅改良に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 小島橋から南部方面のアクセス道路でもあり、事業効果が高い砂天神踏切からの事業を実施しており、国土交通省やJRとの事前協議が概ね完了した。平成27年度から補償契約に入る予定である。				
										11271	生活道路網は、舗装、新設・改良、側溝改良などの計画的な整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努めます。	生活道路網は、舗装、新設・改良、側溝改良など、計画的に生活道路網の整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明 舗装工事=19路線 側溝改良工事=17を整備しました。				
										3	3	3	「15分構想」の推進	11311	市域内交通のネットワークを整備し、「15分構想」を推進し、市域内交通の利便性と定時性を確保に努めます。	市域内交通の利便性と定時性を確保に資するための関連道路の整備や公共交通機関の充実を資する施策の推進に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由 計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しく、また、他の道路整備に関する施策にも複数にわたり重複するため。
														11321	JR鹿児島本線より南部方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上を推進します。	部分的に道路改良等をおこない、JR鹿児島本線より南部方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上に向け事業を進める。	8. 評価不能	評価不能の理由 交通アクセス機能の向上には、都市計画道路や市道改良等の複数の事業により効果が図られるものであるため、評価することは困難である。
														11322	岱明玉名線の整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。	岱明玉名線の整備は、国の予算削減に伴い完成目標年度が平成27から平成30年に変更する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 起点部である県道長洲玉名線との交差点を整備した。
														11323	南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。	都市の外環状の形成に資する南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながら取組を推進する。	6. 未着手	未着手の理由 関係機関や地域住民意向などを踏まえ、事業の必要性を考慮しながら検討する必要があるため。
														11331	市道小浜繁根木線の道路拡幅や砂天神踏切の拡幅を図ります。	小島橋を利用する市民の利便性の向上に資するため、市道小浜繁根木線の道路拡幅や砂天神踏切の拡幅を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 小島橋から南部方面のアクセス道路でもあり、事業効果が高い砂天神踏切からの事業を実施しており、国土交通省やJRとの事前協議が概ね完了した。平成27年度から補償契約に入る予定である。

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)						
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
2	公共交通の充実	1	新玉名駅周辺の整備	11332	松木地区、六田地区のその他の道路改良に努めます。	小島橋を利用する市民の利便性の向上に資するため、松木地区、六田地区のその他の道路改良を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	現在、松木地区の側溝を含めた道路改良工事を行っている。		
				12111	駅前広場を除く新玉名駅周辺整備構想区域(35.6ha)において、開発における諸手続きやインフラ整備などを市が支援することで民間活力による開発を誘導します。	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、庁内関係課と連携して開発の実現を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	現在具体的な進出の動きがなく、施策を進捗することができない。		
				12112	新玉名駅周辺の開発については、周囲の田園風景との調和にも配慮した景観の形成に努めます。	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、周辺の景観との調和に配慮するよう事業者に要請する。	8. 評価不能	評価不能の理由	既進出事業者に関してはそれなりの外壁や看板の色等で配慮がされている。しかしながら、進出事業者への強制力もなく、ガイドライン等の目安となるべきものもないため評価できない。		
				12113	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導や、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努めます。	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導に努めるとともに、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努める。	6. 未着手	未着手の理由	利用状況調査に関するアンケート調査を実施し、利用者の意向を踏まえ、有効策の実施に努める。		
		2	バス路線網の整備	1	12211	路線バスの運行や利用の状況、地域住民の意向調査など地域交通の実態把握に努めます。	平成24年度中に、路線バスを含む市内公共交通の実態や利用状況等について、事業者や利用者へのヒアリング、アンケート調査を実施し、地域公共交通総合連携計画を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	策定済	
					12212	今後の人口構造や社会構造の変化なども踏まえた地域公共交通のあり方を検討します。	非効率なバス路線の見直し、交通空白地域の解消、わかりやすいバス路線の実現などを計画期間中(平成29年度まで)に行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	乗合タクシーの導入で、交通空白地域の一部は解消された。わかりやすいバス路線については、市内を循環運行可能か否かを検討中。	
					12213	交通空白地域の解消を図りながら、財政負担にも配慮した持続可能な交通体系の構築を目指す。	平成24年度に地域公共交通総合連携計画を策定し、同計画に基づき交通空白地域の解消を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	計画に基づき平成27年度中に制度設計等の検討を始める予定。	
				2	12221	阿蘇方面につながる広域観光バスの運行については、実現に向けて運行事業者に対する働きかけを実施します。	事業者の自主運行を基本として、広域観光バスが実現するよう関係機関に対して働きかけを実施する。	6. 未着手	未着手の理由	県北における観光地への入り込み状況等の実態を把握した段階であるが、事業者に働きかける前の諸条件の整理ができていない。	
					12231	バス路線網の整備に当たっては、危険箇所や道路幅員などの調査を実施し、走行性と安全性の確保を図ります。	バス事業者等と連携の上、バス路線上の危険箇所を調査し、関係機関に対して安全確保に向けた措置を働きかける。	6. 未着手	未着手の理由	地域公共交通総合連携計画において「バス停環境の充実」を短期的に優先して取り組むこととしており、具体的な事業展開はこれからである。	
		3	魅力ある住環境の整備	1	定住化などの推進	13111	優良な民間企業の住宅開発の誘導に努めます。	民間の住宅開発が行われるよう、行政としてできることは何かを検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成23年度に定住促進補助金を整備。住宅の取得を促進することで、側面から住宅開発を促している。
						13121	『玉名市スマイル構想』(定住化基本構想)に掲げる施策の実現に努めます。	関係機関との調整や働きかけ等により、構想に掲げた施策の実現を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	定住促進補助金の創設、観光PRの充実と広域化、新玉名駅における観光案内・観光イベントの実施、定住情報ポータルサイトの開設、移住定住相談会の実施等が完了あるいは着手済。
				2	公営住宅の整備	13211	公営住宅の建設や老朽化が著しい既設公営住宅などの改修は、『玉名市公営住宅等長寿命化計画』に沿って計画的に実施します。	公営住宅等ストックの適切なマネジメントを行い、団地別・住棟別の活用方法を定め、安全で快適な住まいを確保するため長寿命化計画に沿って計画的に実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	公営住宅の安全で快適なストック確保のため、長寿命化計画に沿って、ストック総合改善事業により鶴塚団地の給排水管・電気設備改修工事や陣内、篠原、与内迫団地の外壁改修工事等を実施した。(計23件、事業費101,671千円)
						14111	現在(H23年度)の緑地水準を維持し、適切な公園管理を実施します。	現在の緑地水準を維持し、公園、緑地を憩いの場として、安全・安心に利用できるように日常の管理や遊具施設の修繕などを行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	河川緑地と公園を日頃から施設などを点検、修繕などを実施している。
						14121	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動や災害時の広域避難場所として位置づけ計画的な整備を図ります。	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動ができるように公園管理を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	桃田運動公園ならびに蛇ヶ谷公園はシルバー人材で維持管理を実施している。
						14131	老朽化した公園は再整備を図ります。	市民の憩いの場となる公園は、平成21年度から25年度までの5ヶ年計画で安全・安心に利用できる公園を目標に改築更新を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	都市公園のうち7公園を安全・安心で利用できるように遊具などの整備を行った。
4	公園・緑地等の整備	1	公園・緑地の整備	14132	地域住民による公園管理も支援します。	広く市民の方に利用されている都市公園を地域住民による環境美化を委託し公園管理を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	地域住民による都市公園(29)および河川緑地(4)を地域住民による維持管理を実施している。		
				14211	玉名21の星事業を推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。(※花づくりによるまちづくりに限る)	花づくりを実施するまちづくり委員会に対して、可能な支援を実施する。21の星事業が終了する平成26年度以降については、地域づくり団体を支援する新たな施策を検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	花づくりを企画したまちづくり委員会に対し21の星事業により支援をH25年度まで行った。H26年度からは「キラリかがやけ玉名づくり応援事業補助金」を設置したが、初期の目的は達成できており、達成度とみなす。		
				14212	小・中学校や各種団体による「花の都玉名」づくりを推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。	「花の都 玉名」を目指し各校区まちづくり委員会や小・中学校を中心とした花づくり活動を支援する。	5. 着手	状況の説明	①細事業名:花の都づくり推進事業 ②H26年度計画予算:9613千円 ③H26年度決算:9094千円		

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)							
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々々)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)				
								項目	内容			
5 まちなみの 景観形 成	1 都市景観 の形成	1	1	15111	中心市街地においては、建物や商業施設の形態、色彩、看板などについて、景観形成基準の設定も視野に入れ、調和のとれた統一感のあるまちなみ景観の形成を推進します。	都市景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度の成果としては、委員会審議(2回)を経て景観に関する現況及び課題整理を行い、たたき台となる方針(案)を策定した。また、景観ワークショップや景観学習会(景観バスツアー・講演会)を通して市民からの意見聴取や啓発活動を行った。平成27年度は、景観行政団体への移行を目指して計画策定に向けて準備を進めていく。			
				15211	菊池川をはじめとする河川や山並みの景観形成は、自然の風景を十分に配慮した修景整備を実施し、都市の潤い空間として自然景観が阻害されないよう保全を図ります。	自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	5. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度の成果としては、委員会審議(2回)を経て景観に関する現況及び課題整理を行い、たたき台となる方針(案)を策定した。また、景観ワークショップや景観学習会(景観バスツアー・講演会)を通して市民からの意見聴取や啓発活動を行った。平成27年度は、景観行政団体への移行を目指して計画策定に向けて準備を進めていく。			
				15311	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進します。	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進するため、都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	6. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度の成果としては、委員会審議(2回)を経て景観に関する現況及び課題整理を行い、たたき台となる方針(案)を策定した。また、景観ワークショップや景観学習会(景観バスツアー・講演会)を通して市民からの意見聴取や啓発活動を行った。平成27年度は、景観行政団体への移行を目指して計画策定に向けて準備を進めていく。			
					15312	地域の景観は地域で守り育てるという市民意識の高揚に努め、「美しい景観都市 玉名」の実現を目指すため、都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	地域の景観は地域で守り育てるという市民意識の高揚に努め、「美しい景観都市 玉名」の実現を目指すため、都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	7. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度の成果としては、委員会審議(2回)を経て景観に関する現況及び課題整理を行い、たたき台となる方針(案)を策定した。また、景観ワークショップや景観学習会(景観バスツアー・講演会)を通して市民からの意見聴取や啓発活動を行った。平成27年度は、景観行政団体への移行を目指して計画策定に向けて準備を進めていく。		
				6 情報・通信 基盤の整 備	1 情報基 盤・通信 ネットワ ークの整備	1	16111	市光ファイバー網幹線の電線共同溝への入溝などによる災害や事故に備えます。	国土交通省施工の電線共同溝工事(通信分)が平成24.2月末にて完了し、本市移設を平成24.4.28～4.30にてL=約1,575mの共同溝への敷設、電柱へ添架している光ケーブル撤去を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成25年度に光ケーブルの移設を行った。そのため達成済。
							16112	万が一の場合にも業務への影響がないようバックアップ回線を設置します。	本市ネットワークは、自設光ファイバケーブルにより本庁・各支所・外局施設を接続している。災害・事故等により光ファイバの断線により市民サービス及び業務停止が無いよう、通信事業者が提供している通信網をバックアップ回線として利用することにより業務継続を目的とし整備を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成25年度にバックアップ回線の整備は終了したため達成済。
	16121	外部ネットワークとの接続に際し、ファイアウォールなどによる不正侵入などの防止を図ります。	外部(インターネット)から内部(市ネットワーク)への不正侵入等による盗み見、改ざん、破壊を防止することにより、内部ネットワークの安全を維持する。				3. 進行中(後半)	状況の説明	外部からの不正侵入等対策として、ファイアウォールの設置並びにWeb閲覧やメール送受信時におけるウイルス等対策として、ウイルスゲートの設置を行い内部への侵入等監視を行う。			
	16122	職員へのセキュリティポリシーの周知徹底を実施し情報漏えいなどインシデント防止を図ります。	情報セキュリティを取巻く脅威や対策は常に変化している。玉名市セキュリティ委員会を開催し、職員研修及び情報セキュリティ監査の計画、実施、報告を行い、PDCAサイクルによる強固なセキュリティ対策に努める。				3. 進行中(後半)	状況の説明	情報セキュリティ委員会の開催、情報化推進部会員研修の開催並びに情報セキュリティ監査の実施を行った。			
	16131	サーバー機器保守期限となる平成27年度に予定するシステムの更新のため、平成25年度をめぐり再評価を実施し更新に備えます。	サーバー機器保守期限となる平成27年度システム更新に向けて、既存システムの再評価を行い、次期システムを検討し平成27年度までに次期システム、サーバー機器導入を図る。				3. 進行中(後半)	状況の説明	前年度に決定した更新の方針に基づき、平成27年度に実施する機器更改に必要な仕様書の検討、予算措置等を行った。			
	16132	アプリケーションソフトなどを充実(各種行政システムの導入)することにより、情報サービスの充実を図ります。	各電算システムのバックアップ、改修、業者作業管理、障害対応、原課からの電算システム使用に関する問い合わせ対応、必要な資料の作成、システム権限の付与等を行い情報システム運用の充実を図る。				3. 進行中(後半)	状況の説明	平成26年度は、電算システムの保守管理を行い、システム及びサーバー機器の定期的な保守点検を実施した。また、障害発生時の早急な対応や原課からの質疑事項、資料作成等の対応を行い情報システム運用の充実を図った。			
	2 人と自然 にやさし い環境の まちづく り	1 自然環境 の保全	1	1	21111	県と連携した地下水採取量調査や地下水定期モニタリング水質検査を実施します。	県が実施する地下水採取量調査や地下水質検査に係る対象者への文書発送、連絡調整、調査票の回収等を毎年度行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	県が実施する地下水採取量調査や地下水質検査に係る対象者への文書発送、連絡調整、調査票の回収等を毎年度行う。		
					21112	地下水の汚染防止と保全対策を推進します。	熊本県有明保健所が毎年行われる、市内17箇所の地下水質調査に協力する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	熊本県有明保健所が毎年行われる、市内17箇所の地下水質調査に協力する。		
21211					菊池川流域同盟の活動について、水質調査、清掃事業、水援隊事業のほか、「菊池川の日」の制定意義を内外にアピールします。	毎年、「菊池川の日」事業等の河川環境啓発を行い、菊池川流域同盟加入9市町においていっせいに河川水質検査において水質の改善を目指す。	4. 進行中(前半)	状況の説明	毎年、「菊池川の日」事業等の河川環境啓発を行い、菊池川流域同盟加入9市町においていっせいに河川水質検査において水質の改善を目指す。			
		21212	廃油石けん作りコンテストや子どもへの環境学習を取り入れたイベントなどを積極的に実施し、市民の水質浄化意識の向上に努めています。	菊池川流域同盟の「菊池川の日」事業において積極的に廃油石けんや河川水質に関する展示を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	菊池川流域同盟の「菊池川の日」事業において積極的に廃油石けんや河川水質に関する展示を行う。					
2 河川環境 の保全		1	2	21221	菊池川流域同盟の環境保全活動を核とする「環境の先進地、環境立地 玉名」をインターネットなどメディアを通じ、全国へ情報発信します。	広報やインターネット等のメディアを通じ情報を発信する今後提供する情報の種類を増加させる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	広報やインターネット等のメディアを通じ情報を発信する今後提供する情報の種類を増加させる。			
				21231	市民へ生活排水路の定期的な清掃を促進し浄化機能や景観を維持保全することで、河川の環境保全を推進します。	排水路に限らず区役等のボランティア活動にて清掃活動をする場合には、ボランティア袋の提供などを行い環境保全に役立てる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	排水路に限らず区役等のボランティア活動にて清掃活動をする場合には、ボランティア袋の提供などを行い環境保全に役立てる。			
				21311	森林は、景観保全、地下水かん養などの面から開発との調和を図りながら自然環境の保全に努めます。	水源かん養、生物多様性保全など重視すべき森林の機能に応じた森林整備を図るため、玉名市森林整備計画に基づき保安林の指定やその適切な管理により自然環境の保全を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	太陽光発電施設設置の普及に伴い、林地開発及び森林の伐採件数が増加している。それらが玉名市森林整備計画に適合するを見極めながら、自然環境の保全と開発の調和を図るとともに、無届の開発及び伐採がないかの巡回指導を実施している。			

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)				
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
	2 環境保全 への意識 啓発	1 環境保 全活 動の 意 識 啓 発 の 推 進	1	21411	様々な公害に対する情報把握に努めるとともに、市民の不安を解消し、苦情などの処理には迅速に対応します。	快適な市民生活を脅かす様々な公害の苦情申立てがあった場合、速やかに情報収集に努め、迅速に対応し、市民不安の解消に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	快適な市民生活を脅かす様々な公害の苦情申立てがあった場合、速やかに情報収集に努め、迅速に対応し、市民不安の解消に努める。
				21421	環境の保全や創造について基本理念を定めます。	環境の保全や創造について基本理念を定めるため、平成26年4月1日施行を目標に「玉名市環境基本条例(仮称)」を制定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	環境の保全や創造について基本理念を定めるため、平成26年4月1日施行を目標に「玉名市環境基本条例」を制定した。
				21422	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるための環境基本条例(仮称)の制定に努めます。	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるため、玉名市環境美化に関する条例を制定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成26年4月1日に市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるため、玉名市環境美化に関する玉名市環境基本条例を制定した。
			2	22111	地域や学校への環境学習の出前講座を実施します。	市民一人ひとりの環境保全意識を高めることが快適な生活環境の確保につながるため、環境学習講座を年1回以上行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市民一人ひとりの環境保全意識を高めることが快適な生活環境の確保につながるため、環境学習講座を年1回以上行う。
				22112	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上に努めます。	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上のため、ホームページ等で啓発を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上のため、ホームページ等で啓発を行う。
				22121	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進します。	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進するため、環境学習に有用な情報の提供及び環境学習を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進するため、環境学習に有用な情報の提供及び環境学習を実施する。
	2 環境保 全活 動の 支 援	1	1	22131	ISO14001やエコアクション21などの企業の環境活動に対する意識の啓発を推進します。	企業の環境活動に対する意識の啓発を推進するため、平成26年度中にホームページ等で啓発を行う。	6. 未着手	未着手の理由	平成26年度に作成した玉名市環境基本計画に基づき平成27年度から実施する。
				22211	ホームページなど情報サービス機能を活用し、市民グループやNPOなどの環境保全推進団体の活動実績を紹介しします。	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、随時、市広報、ホームページ等で紹介を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、随時、市広報、ホームページ等で紹介を行う。
				22212	団体の新規結成や既存団体の活動を支援します。	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。
			2	22213	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう支援します。	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。
				22221	エコ活動を行う事業者や市民団体などへの支援を継続します。	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。
				22222	定期的に広報紙などで(エコ活動を行う事業者や市民団体などの)活動状況を広く周知し、エコ活動への関心、参画の拡大に努めます。	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、定期的に広報紙等で紹介記事等を掲載する。	6. 未着手	未着手の理由	平成26年に玉名市環境基本計画を策定した。その計画に基づき事業を実施する。
	3 新エネ ルギー の導 入	1 新エネ ルギー 導 入 の 推 進	1	23111	公共事業関連での新エネルギー導入は、関係課と連携し、環境に配慮した機材や施工方法を用いるよう意識啓発に努めます。	新エネルギーやCO2排出量削減を目的とした機器について情報の提供を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	新エネルギーやCO2排出量削減を目的とした機器について情報の提供を行う。
				23121	住宅用の太陽光発電機設置に対する支援を設置世帯数で年間200軒前後の純増を目標として引き続き実施します。	太陽光発電システム設置に対し、年間約200件の補助を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	太陽光発電システム設置に対し、年間約200件の補助を行う。
			2 省エネ ルギー の推 進	23211	公用車の買い替えの際には、ハイブリッド自動車などの導入を積極的に検討し、可能な限り実施します。	合併後、4台のハイブリッド自動車をはじめ、買換えの際には低燃費のエコカーを優先的に導入している。今後も平成27年度に策定する公用車適正配置計画に基づき、適正台数の確保と管理・運用を進め、更新の際のエコカー導入についても継続して実施する。	5. 着手	状況の説明	合併後、4台のハイブリッド自動車をはじめ、買換えの際には低燃費のエコカーを優先的に導入している。
4 上水道・下 水道の整 備促進	1 上水道な どの整備	1	24111	上水道事業は、年次整備計画に基づき未普及地域の解消、老朽化した施設や配水管の更新を計画的に推進します。	上水道事業は、未普及地域の整備及び老朽化した施設、配水管等の更新を行う。	5. 着手	状況の説明	平成26年度末での、上水道整備率は76.6%であり、更新時期を迎えている水道施設の機器の交換及び配水管の更新を優先して行った。	
			24112	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指す。	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指すため、運転管理を平成23年度より複数年契約、維持管理は単年度契約で実施する。	5. 着手	状況の説明	運転管理については、複数年契約、維持管理は業務内容の性質上、単年度契約で実施しているが、どちらも効率的に業務を行っている。	
		2	24121	配水池やポンプ室などの基幹構造物や管路の耐震補強や更新を進めます。	新設及び更新工事の管路は、耐震管を採用していく。また老朽化した施設もあり、基幹構造物の耐震補強計画は未策定であるため、早い段階で計画し財政面も考慮しながら事業を実施していく。	5. 着手	状況の説明	平成26年度において、耐震管布設をL=4,367m実施した。耐震補強計画として、平成24年度に東部地区(菊池川左岸)基本計画見直し業務委託を発注しており、これに基づき整備着手時期を検討していく。	

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)									
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)					
								項目	内容				
2	下水道などの整備	1		24122	災害時の応急給水拠点を整備するための『拠点設置計画』などの策定に努めます。	災害時の対応は、「玉名市地域防災計画」に基づき実施するため、『拠点設置計画』は策定しない。	7. 計画中止	評価不能の理由	各主要施設の改良事業に併せて拠点整備を行うため、『拠点設置計画』の策定は行わない。				
				24131	簡易水道事業は、配水管の更新時期も迎えているため、統合計画書に基づき施設や配水管の更新を推進します。	簡易水道等施設整備費(生活基盤近代化事業補助率1/3)により計画期間中(平成23～平成27年度)、天水東地区の老朽化した施設及び配水管の更新を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成26年度において、配水管布設費をL=5,900m実施した。				
				24211	公共下水道事業は、今後も更に計画区域内の認可拡張を実施し、早期完了を目指します。	公共下水道事業は、平成28年度の処理区域内人口33,400人を目標とし、今後も全体計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成26年度は既認可区域の整備を行った。今後も全体計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。				
				24212	公共下水道事業は、要望の高い未整備地区の新規着手に努めます。	公共下水道全体計画区域外の未整備地区については、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定したため、公共下水道事業では整備を行わない。	7. 計画中止	状況の説明	公共下水道全体計画区域外の未整備地区については、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定したため、公共下水道事業では整備を行わない。				
				24221	玉名市浄化センターの機械や電気設備の改築を進めることにより施設の長寿命化を図ります。	玉名市浄化センターの長寿命化として、機械、電気設備の更新を図る。平成25から平成29を予定。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成26年度は平成25年度実施した施設設計を基に水処理施設及び電気設備の改築更新を行った。				
				24222	玉名市浄化センターの経営においては補助制度を活用し建設投資や維持管理の一層の効率化に努めます。	玉名市浄化センターの長寿命化は、補助制度を最大限活用し、該当しない設備は単独による修繕を行う。また、維持管理の効率化にも努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成26年度長寿命化工事を行った。				
				24231	菊池川左岸(豊水、伊倉、八嘉の一部)の下水道は、地域の意見などを踏まえ整備手法など検討を引き続き実施します。	菊池川左岸(豊水、伊倉、八嘉の一部)は、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見などを踏まえ整備手法などを検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	菊池川左岸(豊水、伊倉、八嘉の一部)については、地域の実情に基づき、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定した。				
				24241	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を引き続き推進します。	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を推進していきます。	5. 着手	状況の説明	平成26年度は駅周辺の具体的な開発計画がないため、現時点で進捗はない。今後も開発状況に添った適正な下水道事業を推進していきます。				
				24251	立願寺の雨水対策は、今後の整備手法について、慎重に検証し対応します。	立願寺の雨水対策は、市計画道路の完成とともに雨水幹線が整備され、繁根木川の改修も同時期に実施されたことで、浸水区域内の排水機能が高まり改善がみられるため、状況を確認しながら今後の整備手法を検討します。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成19年度に雨水幹線が整備完了し、浸水区域内の排水機能が高まり、現在のところ大きな被害は発生していないため、整備手法について今後も慎重に検証し対応する。				
				24261	浄化槽の設置者に対しての設置費補助金の交付や、市町村設置型の整備について、今後も積極的に推進するための啓発活動に努めます。	住宅に個人設置型浄化槽を設置する場合に人槽に応じて補助金を交付する。特にくみ取りや単独処理浄化槽を利用している家庭に合併浄化槽への転換を促す。	4. 進行中(前半)	状況の説明	個人設置型浄化槽については117基、市町村設置型浄化槽は10基設置した。				
				24262	「水のきれいな都 玉名」の実現を目指します。(※浄化槽の設置以外施策によるもの)	公共下水道、農業集落排水、浄化槽の各事業を用いて汚水処理の整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明	公共下水道、農業集落排水、市町村設置型浄化槽の各事業実施地区は、今後も整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。				
				24271	横島地区の農業集落排水事業は、今後は、経年劣化による機能低下が懸念される汚水処理場などの改修計画を立てて機能の強化を実施します。	横島地区処理場の機能強化及び各住宅に設置してある真空弁システムの更新を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成24年度に実施計画をし、平成25年度に真空弁の更新、平成26年度に処理場の機能強化を実施した。				
				24281	天水地区の汚水処理対策は、今後、地区住民が求める下水道施設による汚水処理を含め、最も適切な汚水処理の整備手法の検討を図り、その実現に努めます。	天水地区(農業集落排水処理区域以外)は、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見などを踏まえ整備手法などを検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	天水地区(農業集落排水処理区域以外)については、地域の意見などを踏まえ見直しを行った結果、今後も市町村設置型浄化槽による整備を推進する。				
				5	安心安全なまちづくり	1	防災体制の強化	25111	災害時における連絡体制や役割分担などについて、防災関係機関、民間事業者と事前調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図ります。	災害時における救援物資の提供と応急対策活動等の協定調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名市において、大規模な災害が発生した時に、迅速かつ効率的な被災者に対する生活支援活動を行うことができるように社会福祉協議会と連携してボランティア活動を行う団体、又は個人を支援するためセンター設置及び運営に関する協定を締結した。また、災害発生時における物資等の緊急輸送をトラック協会と災害協定の締結を行った。
								25121	危機管理意識の啓発は、市、防災関係機関、自主防災組織などとの連携を強化し、市民の防災意識の高揚を図ります。	地域住民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯意識の下に、組織的な防災活動を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	自主防災組織での訓練や活動のための資機材を支援することで自主防災組織の育成強化を図った。
								25131	常備消防については、災害態様の複雑多様化に対応するため、救助に関する教育訓練体制の充実や救助業務実施体制の充実・強化を促進していきます。	地域住民が安心して暮らせるように、住民の生命、身体、財産を火災等から保護し、その被害を軽減を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	常備消防の充実・強化の促進のため、有明広域行政事務組合に消防費を負担している。
								25132	非常備消防は、団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討するとともに、活動に必要な資機材、装備、施設などを充実し、消防団活動の充実を図ります。	消防団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	消防団を40分団から10分団に再編を行い、支援団員制度を導入することで消防団の体制強化を図った。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)									
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)					
								項目	内容				
				4	25141	平時からの防災意識の高揚を図ります。	市民の防災意識の高揚を図るため、防災講演会や研修会等を開催し、防災啓発を継続して実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 県との連携による啓発活動及び講演会等を実施し、市民の防災意識の向上を図った。				
					25142	防災訓練などに市民が参加しやすい工夫を凝らし、地域の防災力の一層の向上を図ります。	市民、関係機関、玉名市が一体となって実践的な防災訓練を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 災害時、迅速に対応を行うため、市民、関係機関、玉名市が一体となって実践的な防災訓練を実施し、市民の自助、共助による防災意識の向上を図った。				
					25143	自主防災組織については、更なる組織率の向上に努めていきます。	地域の防災力強化のため、さらに自主防災組織の結成促進・活動力向上に取り組む。	4. 進行中(前半)	状況の説明 未結成団体に対して結成促進を図り、前年と比較し、19%増の組織結成が行われ、66.73%の組織結成率となった。				
				5	25151	自然災害、危険物災害などの発生に備えた防災行政無線は、各支所の機器が異なるため、その統合・デジタル化を図ります。	将来、玉名、岱明、横島、天水の4つの親局を1つに統合し、アナログから完全デジタル化を図る。	6. 未着手	未着手の理由 平成29年度から各地区の4つの親局を統合し、デジタル化を図る				
					2	治水の強化	1	25211	水害の多発地帯では河川の改修を推進します。	水害の多発地帯では、災害復旧工事等により河川の改修を推進する。	8. 評価不能	評価不能の理由 河川の改修の推進にあたっては、国や県、市のそれぞれの管理区域があるため、一概に評価することが困難であるため。	
							2	25221	県管理区間の境川については、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	県管理区間の境川は、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	5. 着手	状況の説明 平成26年度は、国道208号に架かる国道橋の下部工事に着手した。今後も期成会等を通じて早期改修に向けた整備促進を図っていく。	
							2	25222	境川については、市管理区間も下流とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進します。	市管理区間の境川は、下流域とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 平成24年度に予備設計を実施済み。平成27年度は、下流の県河川整備の進捗を見ながら詳細設計に入る予定。	
				3	交通安全対策の強化	1	25231	唐人川、尾田川については、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	唐人川、尾田川は、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期成会の活動を通して、河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	5. 着手	状況の説明 平成26年度は、尾田川排水対策による排水路整備が施工され、県道熊本玉名線より下流域については、順次整備を進めていく。今後も期成会等を通じて早期の整備促進を図っていく。		
								2	25311	交通安全対策は、主要道路や通学路の歩道整備を引き続き推進します。	交通安全対策としての主要道路や通学路の歩道整備は、適宜、部分的な改良等を実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由 交通安全対策としての通学路の歩道整備は、適宜部分的な改良を行っている状態であるので、一概に評価することが難しい。
								2	25321	「高齢者の交通安全の確保」「自転車の安全利用の推進」「シートベルトの全席着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」「飲酒運転の根絶」に重点をおいた交通安全意識の啓発や交通安全教室を実施します。	第9次玉名市交通安全計画(平成23年度～27年度)において設定している目標に準じ、平成27年までに24時間交通事故死者数を2人以下、年間の交通事故負傷者数を420人以下とする。	3. 進行中(後半)	状況の説明 玉名地区交通安全協会をはじめとする交通安全団体と連携し、交通安全教室やキャンペーン等を実施するなど4つの重点課題に則した施策を適宜実施した。
				4	防犯対策の強化	1	25411	行政区、学校、家庭、職場への広報活動を充実させ、地域防犯組織の育成を図ります。	警察をはじめとする関係機関からの情報を防犯活動に取り込むボランティア団体等に随時提供する。また、広報紙に掲載し市民の防犯意識の高揚を図り、防犯組織の育成に努める。	5. 着手	状況の説明 防犯関係団体には、連携して防犯対策に取り組むとともに、適時情報提供を実施した。		
								25412	防犯対策の強化に努めます。(※地域防犯組織の育成を除く。)	青パト巡回未実施のPTAや補導員等の防犯協力団体に青色パトの活用を働きかけ、年間を通じた青パトによる巡回強化を図る。	5. 着手	状況の説明 玉名市PTA連絡協議会、玉名市青少年センターに青パトを貸出し校区内の防犯巡回を実施した。	
2	25421	学校周辺をはじめとする危険箇所の把握を関係団体と連携し実施します。	玉名警察署、学校、関係課と通学路等の安全点検を今後実施し、これらの関係機関と連携を取りながら危険箇所の解消に努める。					5. 着手	状況の説明 通学路等の交通危険箇所の改善要望については、学校を始めとする関係部署と現場立会いのもと対策と解消に取り組んだ。				
25422	(防犯施設整備)の対策が必要な場所には、行政区などの管理団体に防犯灯を設置するための補助制度の活用を働きかけるなどとして、防犯施設の整備を図ります。	管理団体の負担により設置するため目標設定は困難であるが、寿命が長く、電気料金が安価なLED照明の特性について情報提供に努め、球交換の努力軽減も図れることからLED照明防犯灯の普及を促進する。	5. 着手					状況の説明 防犯灯の新設や建替え申請時にLED照明の特徴を十分説明し普及に努めた。					
6	ごみ・し尿処理と再資源化の推進	1	ごみ分別収集の推進					26111	ごみ排出量の減少化に資するため、更なるごみ分別の徹底を図ります。	ごみの分別は、現在違反ごみも減少してきている。しかしながら、焼却場、最終処分場の延命化等も含め市民への更なる啓発を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明 ごみ・資源収集カレンダー等の改善など取り組んでいるが、若干ではあるが違反ごみが無くなる。市民への更なる啓発を根気よく続けていく。	
				26112	資源ごみの回収に特に有効なコンテナ方式は、モデル地区の拡大に努めます。	資源ごみの回収には、コンテナ回収が有効であるためモデル地区の更なる拡大に努める。	6. 未着手	未着手の理由 有価物の単価が不安定で、地区に入る収入も不安定であることもあり、現在のところ新規で始める地区はない。					
		2	循環型社会システムの構築	26211	更なる3R(ごみの抑制:Reduce、再利用:Reuse、再資源化:Recycle)の取組を推進します。	更なる3Rの推進に努める。また、「使用済小型電子機器の再資源化の促進に関する法律」が施行されたことによる回収方法等の検討を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 3Rの推進は分別収集により推進しているものの、使用済小型電子機器の再資源化の取り組みについては広域行政や構成市町との関連もあり検討中である。					
				26212	(循環型社会システムの構築を図るため)広報紙や市のホームページなどで啓発を実施します。	ごみの分別や循環型社会システムの構築を図るため、広報誌や市の平成P、啓発チラシ等により啓発を続ける。	4. 進行中(前半)	状況の説明 ごみ・資源収集カレンダー等の改善など取り組んでいるが、今後も市民への更なる啓発を根気よく続けていく。					

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)									
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 則 番 号	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未達予・計画中止等の理由)					
								項目	内 容				
		3	不法投棄 の監視強 化	1	26211	家庭ごみをはじめ産業廃棄物などの不法投棄は、関係機関との連携/トロールの強化などを図りその撲滅に努めます。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	平成26年度の不法投棄物回収量は3.39tであり、前年度実績よりも少なくなっているが、今後も監視・指導を続けていく。				
3	人をばぐくむまちづくり	1	学校教育の充実	1	就学前教育の充実	1	31111	一人ひとりの子どもの発達段階に応じた適切な教育を行います。	2. 概ね達成	状況の 説明	各小中学校とも学校総体で取り組んでおり、小学校と中学校のより情報の共有化を図り、児童生徒理解が進み、個に応じた指導が推進できている。		
						2	31112	中学校区における幼・保・小・中の連携と交流を更に深めます。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	小中一貫教育推進計画に基づき、各中学校区で「目指す子ども像」を定め、「知・徳・体」それぞれに共通実践事項を決めて取り組む体制が整った。小中一貫教育コーディネーターの研修等を行い、推進リーダーの育成にも努めている。		
						3	31121	読書の重要性を再認識し、想像力を豊かにし、表現力を高めるなど効果的な読書活動を推進します。	3. 進行中(後半)	状況の 説明	平成26年度調査(平成25年度末実績)によると達成率75%以上の小学校は、57.1%、中学校は100%である。		
						4	31122	就学前から家庭や地域との連携のもと、読み聞かせなど読書に親しむ場を工夫します。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	図書室補助員は配置しているが、任用は18名であり、9校が兼任の学校である。 ①細事業名: 学校図書室補助員配置事業、小学校・中学校教育図書整備事業 ②H25年度計画予算: 24,597千円 ③H25年度決算: 24,409.(349)千円		
						2	生きる力を身につける教育の推進	1	31211	学校は、人間形成の基礎づくりの場であることから、「みんなで助け合い、楽しく基礎・基本を学ぶ」ことを前提とし、さらに、個性を伸ばし、生きる力をばぐくむことを目指します。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	義務教育9年間を見通して中学校区ごとに策定された共通実践事項を見直し、小中の連携を推進している。教育活動に保護者や地域の人材を活用することで、様々な価値観に出会わせ、自ら考える力を高めている。
						2		31212	社会教育と連携し「地域の子どもは地域で育てる」という考えに基づき、農業体験や職場体験、企業訪問、環境学習、ボランティア活動などを積極的に学習活動に取り入れます。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	すべての学校で学校応援団の協力を得て、校外での体験学習等を実施している。働く人々の苦労や願いを知り、体験することで自己を見つめ、さらに自己の将来につながるキャリア教育の一助となっている。	
						3		31221	情報教育、環境教育、国際理解教育など、体験学習や実践を取り入れながら積極的に実施します。	2. 概ね達成	状況の 説明	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画をそれぞれ作成し、体験学習や実践を取り入れながら、計画的・系統的な教育活動を展開する。	
						4		31222	学校ホームページを通して、学校の教育活動の様子などを保護者や地域住民に伝え、地域に開かれた信頼される学校づくりに努めます。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	ホームページは、すべての学校で開設されているが、常時更新している学校と、定期的な更新ができていない学校が依然見られる。機会を捉えて更新の呼びかけを行っている。	
						5		31231	指導主事派遣事業、学校訪問事業を充実させます。	3. 進行中(後半)	状況の 説明	全27校に対し、教育事務所訪問を含め、市教委による学校訪問を実施し、授業参観等を通して、指導・助言を行うとともに「管理職と課題を共有し、支援を行っている。	
						6		31232	多様な指導形態と評価方法の工夫改善や言語活動の充実を努めます。	3. 進行中(後半)	状況の 説明	身につけさせたい力を明確にした上で、指導事項と結び付け、言語活動を設定し、児童生徒が自ら考え、判断し、それを表現する等の授業の展開を工夫している。	
		7	31241	心身の健康や自然の恩恵、勤労などへの感謝、食文化などについて、教科と学校給食や体験活動を関連させた系統的な指導の充実を図ります。	1. 達成(完了)	状況の 説明		すべての小中学校において心身の健康や自然の恩恵、勤労などへの感謝、食文化などについて、教科と学校給食や体験活動を関連させた系統的な食育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づく計画的・系統的な教育の実践が図られている。					
		8	31242	食に関する知識や実践的な態度を身につけさせ、望ましい食習慣の形成に努めます。	2. 概ね達成	状況の 説明		すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育を実践する。					
		9	31251	子どもの体力低下を防止し、子どもの基礎的な体力を身につけるため、体力・運動能力テストを実施します。	2. 概ね達成	状況の 説明		体力・運動能力テストを実施し、成果と課題を明確にして学校体育の充実を図る。					
		10	31252	子どもの体力低下を防止し、子どもの基礎的な体力を身につけるため、学校体育の充実を図ります。(※体力・運動能力テストを実施を除く。)	2. 概ね達成	状況の 説明		すべての学校において学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成し、学校体育の充実を図る。					
		11	31261	玉名市教育委員会指定研究推進校補助事業を引き続き推進します。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	毎年新規に2校の推進校を指定し、全校一体となって学力向上等に取り組む、2年目に成果の検証のための発表会を行う。						
		12	31262	全国学力・学習状況調査を市立全小・中学校で今後も実施し授業改善に取り組むことにより、児童や生徒の学力向上に努めます。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	教育活動の成果検証のための一指標とし、問題内容や問い方などを授業に活かし、基礎基本を活用する力を高め、結果をもとに課題を洗い出し授業の改善及び学習内容の定着を図る。						
		13	31271	家庭教育は、玉名市家庭教育憲章の理念に基づき、社会教育と連携を図り意識啓発に努めます。	4. 進行中(前半)	状況の 説明	各学校が、教育活動にかかる情報を保護者や地域に発信し、児童生徒の課題の共有を図り、教育の第一義的責任を有する家庭の意識を高め、協働して健全育成に努める。						

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 則 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			8	31281	不登校の未然防止や解消、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に向けて、学校と家庭や関係機関が連携をとり、細心に配慮しながら実施します。	不登校の未然防止や解消、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に向け、学校の教育相談活動の機能強化を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 ①細事業名: 適応指導教室指導員活用事業 ②H25年度計画予算: 2,955千円 ③H25年度決算: 2,921(854)千円	五名市教育相談員を教育総務課内に1名配置し、また、適応指導教室指導員を各中学校に1名配置しているが、相談業務が増加し、学校の要望に十分に答えられていない。
			9	31291	一貫性を持たせた体系的な教育方式である小中一貫教育の創設も視野に入れた小・中学校教育のあり方について検討を開始します。	平成25年3月14日に小中一貫教育推進計画を策定し、平成26年4月から市内全小中学校において小中一貫教育をスタートするため、中学校ごとに小中一貫教育に向けての体制づくり着手する。平成28年度末までには、小中一貫教育体制を構築し、エッジオン・イングリッシュと五名学を市内全小中学校にて実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 ①細事業名: 教育相談業務 ②H25年度計画予算: 728千円 ③H25年度決算: 728千円	6中学校において、共通の「目指す児童生徒像」を定め、その具現化のための「共通実践事項」を知・徳・体のそれぞれを定め、達成目標を定めて、中学校単位で同じ方向に向かって学習指導や生徒指導を行っている。また、平成26年度から研究指定校において、特色ある教育課程として「玉名学」や「エッジオン・イングリッシュ」を導入する準備を進め、平成28年度開始に備えている。
	3 学校・家庭・地域の連携	1		31311	教職員自身が地域のよさを再発見し、課題解決的な学習を通して教科や道徳、総合的な学習の時間などに生かしているよう努めます。	玉名の歴史や産業、礼儀、作法等について学ぶ『玉名学』のテキストを作成し、市内全部の小中学校へ導入していくことで、生まれ育った玉名への誇りをもつ子どもたちを育てる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	『玉名学』のテキストを「探究」「礼節」「日本語」の三冊に分けて試作した。平成26年度は研究指定校を指定して試行し、カリキュラム及びテキストの妥当性について検証を行った。テキストの完成版及び指導書を作成し、平成28年度からの実施に備えている。
		2		31321	伝統芸能・文化の継承は、文化振興や社会教育と連携し、教育課程外などの時間を活用し、ふるさとの祭りなどを地域素材として教材化し、社会科学習などに活用します。	社会科での学習のみならず、『玉名学』においても地域素材をいかした学習を取り入れることで、地域に対する児童生徒の興味・関心を高める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	施策No.31311に同じ
		3		31331	米作りなどの体験学習や他学級との交流学習、地域の人の交流などを積極的に実施します。	各学校で創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を取り入れることで、児童生徒の社会参加や自立を促す	2. 概ね達成	状況の説明	各学校が創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を実施しており、児童生徒の社会参加や自立を促している。
		4		31341	学校支援ボランティアの活用や学校評議員、学校運営協議会委員などによる学校関係者評価を進めます。	学校の教育活動に外部の人材を導入したり、学校の自己評価だけでなく外部からの評価を受け、得られた課題を必要に応じて学校経営方針等の改善事項に組み込み、教育活動の充実・向上を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	前年度の評価結果を受け、新年度の学校経営方針に取り入れ、年度途中或いは年度末に、自己評価とともに学校関係者評価を実施している。年度末には、各学校から市教委へ、学校評価全体の分析結果と、それをもとにした今後の改善策を立案したものが提出されている。
		5		31351	通学路の安全点検や防犯パトロールなど、地域が一体となり交通安全・防犯体制を強化します。	すべての学校で通学路の安全点検を行うとともに、地域ボランティアによる防犯パトロールの組織づくりを推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成26年度も、各小学校で通学路の点検を実施し、危険箇所等の改善を図った。
				31352	校内に防犯カメラを設置します。	小学校21校及び中学校6校防犯カメラを設置する。 (※中学校は必要に応じて)	3. 進行中(後半)	状況の説明	小学校21校と玉名中学校、玉陵中学校に設置が完了している。残りの4中学校には未設置のため、今後必要に応じて設置を図る。
		6		31361	「あいさつ運動」などによる地域との関わりを通じて、心豊かでたくましい子どもたちをはぐくむ学校教育を推進します。	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行っている。
	4 人権教育の充実	1		31411	一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる、「命の教育」を推進します。	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成し、豊かな体験活動との関連を図ることで「命の教育」を推進する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づき、豊かな体験活動との関連を図ることで「命の教育」を推進している。
		2		31421	同和問題を人権問題の中心に据えながら、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図ります。	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画の作成がなされ、計画的・系統的な教育活動が展開されている。
	5 教育環境の整備	1		31511	老朽化した校舎などの(学校施設は、)改修や改築について年次計画に基づき整備を図ります。	老朽化した校舎などの学校施設の改修や改築を年次計画に基づき整備する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	建築時期が昭和40～50年代に集中して建築され、建築後40年後半～35年以上経過している老朽化した校舎が大半を占め、改築を含めた改修計画が必要で、莫大な予算が必要となっている。学校再編の事業計画と平行しながら新たな改修計画を行い、年次計画をもって整備を図っていく。
		2		31521	小・中学校の校舎などは耐震診断に基づき計画的に耐震補強工事を実施し、平成25年度までに耐震化を図ります。	すでに着手済み(平成24末の耐震化率は98.9%) 平成25年度末完了を計画していたが、玉中武道場が未調査のため、急速平成24年度に耐震診断を実施、結果耐震補強困難となり、平成25実施設計、平成26改築を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	玉中武道場の耐震診断を実施した結果、耐震補強が困難となったことにより、H25年度に解体工事を行い耐震化率は100%となった。H26年度には玉中武道場の改築工事を行った。
		3		31531	小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会を設置します。	平成23年度中に6回の玉名市学校規模適正化審議会を開催し、平成23.12.11に玉名市学校規模適正化建議を受け、平成24.3.14に玉名市学校規模・配置適正化基本計画(案)を決定する。望まれる学校規模基準小学校「2学級～3学級」、中学校「3学級以上」を決定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成24年6月から玉名市学校規模・配置適正化基本計画説明会や意見交換会、パブリック・コメント等を実施し、10月に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を策定する。その後、最初に実施する玉陵中学校区の6小学校区にて実施計画説明会を行い、周知を図る。
				31532	(小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会)で検討された建議を受けて、学校規模や学校配置についての基本方針を策定し、その計画を推進します。	全市内6中学校において基本計画(案)説明会を実施し、同時にパブリック・コメントを実施する。天水中校区3小学校区において、基本計画(案)意見交換会を実施し、平成24.10.11に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を決定する。最初に取り組む玉陵中学校区において、実施計画説明会を実施し、平成25.2.18に新しい学校づくり委員会(部会)を発足させ、計画を推進している。平成26年度末までには、玉陵中学校区を完了させ、平成27年度からは天水中校区を検討に入り、学校再編を軌道に乗せる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	最初に取り組む玉陵中学校区において、「新しい学校づくり委員会」を組織し、学校再編に必要な諸事項を協議・調整し決定して行きながら、6小学校を1小学校にする学校再編を推進し、1学年2～3学級の学校規模基準にしていきます。 玉陵中学校区において、6小学校保護者・未就学児保護者説明会、学校再編等アンケート調査、小田小・梅林小保護者説明会、個別訪問等を実施し、住民の意見の集約を図った。 また、住民の意見を反映するため、新しい学校づくり委員会を4回、各専門部会を延べ12回開催し、総務部会において校名の候補として「玉陵小学校」を新しい学校づくり委員会で正式候補として協議することを決定した。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 目 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
2	社会教育 の充実	1	生涯学習 の推進	1	32111	4公民館(玉名市中央・岱明町・横島町・天水町)は、連携を図り、地域の実情に合わせた各種公民館講座事業を拡充します。	市民を対象に生涯を楽しみ、充実させるため地域の実情にあった学習を提供し、生活の質の向上に役立つとともに地域社会への参加を促進し連携意識の強化を図る。また、地域のニーズに応じた講座内容により各公民館で継続的に実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成26年度についても事業を継続し、中央18、岱明14、横島4、天水5講座、計41講座を開催し、その成果を「生涯学習フェスティバル」で発表した。今後も市民ニーズに合った講座の開催を検討していく。
				2	32112	4公民館(玉名市中央・岱明町・横島町・天水町)は、誰もが参加できる自主活動の支援に努め、生涯学習機会の充実を図ります。	市民の自主的な生涯学習活動の支援や自主団体の育成を図り、自ら実践する心と活動を育む生涯学習を推進する。また、各年齢層・性別に応じた工夫のある内容で講座・研修会などを継続して実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成26年度についても事業を継続し、自主講座の発表の機会や支援を行った。また、親子参加型講座や若い世代向けの新たな講座を開講し、幅広い年齢層の方たちが参加できる講座の環境づくりにも努めた。
				3	32121	公民館職員の研修体制を強化し、地域に根ざした公民館活動を振興します。	地域住民が相互協力により、文化・スポーツ活動や世代間の交流を図れるよう、また、生涯学習の場として公民館が安心して利用できるような継続的な振興を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成26年度についても事業を継続し、市公民館支館長研修会の開催や県公民館大会への参加を通じ、講師による講演や先進地事例などを学ぶ機会を積極的に設けた。
				4	32131	各支館活動の充実が不可欠であることから、それぞれの支館が個性や独自性を生かした計画づくりを実施します。	地域社会の親睦と融和を図り、相互理解と地域連帯感を高め、コミュニケーションを深めることを最大の目的であり、継続的なサポートする	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成26年度についても事業を継続し、市公民館支館長研修会や意見交流会の機会を設け、各支館の支館長同士の交流を通じ、コミュニケーションを深めることができた。
				5	32141	まちづくり団体も地域の実情に応じた個性的な活動を展開している団体のネットワークづくりを実施します。	地域の実情に応じた個性的な活動を展開しているまちづくり団体と、長期的、継続的にネットワークづくりを進める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 市公民館支館長研修会において、60分間のまちづくり等に関する講演会の開催、現地視察、支館活動の事例発表や意見交換を通じ、情報共有をできる機会を設けた。
				6	32151	地域づくりが持続的に発展するため、地域の担い手の育成を積極的に推進します。	地域の担い手の育成を積極的に推進するため、多方面に亘る活動機会、情報収集をもとに、人材確保に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 公民館講座の講師に地元の人材を採用するとともに、自主グループの活動やメンバー募集チラシを公民館に掲示し、学習活動に参加していただけるように努めた。
				7	32161	本市の図書館と図書室は、相互の情報ネットワーク化により利用者の利便性の確保を図ります。	図書館及び図書室の利便性の確保のため、利用者からの要望によるインターネット予約を平成25年9月より開始する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 インターネットからの予約・リクエスト等も浸透していき利用は増加した。
				8	32171	図書館の蔵書数の充実に努めます。	蔵書内容の見直しを図り、市民のニーズ、各図書館のニーズにあわせた選書を行う。	2. 概ね達成	状況の説明 カウンター、Web上からのリクエストを元に市民のニーズにあった選書を行い、資料の充実につとめた。
				9	32172	年齢層に沿った様々なイベントやコンクールなどを地域や学校教育と連携しながら実施し、市民の読書意欲の向上を図ります。	毎年行う読書活動推進行事は年々参加増である。減少した行事は、問題点の割出を図り検討する。	2. 概ね達成	状況の説明 毎年継続して行っている行事については、利用者にも浸透しており、参加数は安定している。また、新たな行事を設けたことで親子から高齢者まで幅広い年齢層が参加できた。
				10	32181	「家族の「なかよし」」「とまぢの「なかよし」」「学校の「なかよし」」「となり近所の「なかよし」」「地域全体の「なかよし」」を積極的に推進します。	イベントの開催を目的とすることではなく、地道に根気強くなかよしの日事業の普及、啓発を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成26年度は、公民館は地域コミュニティの拠点であり、「なかよしの日」の趣旨や目的を多くの市民に広めていく役割が期待されているという観点から、支館などの地域団体等を巻き込んだ形でイベント開催を行い、普及と啓発に努めた。今後もあらゆる手法を通じ、普及・啓発を進めていく。
				11	32191	市民の学習意欲が高い講座や研修会などを積極的に実施します。	趣味的講座だけではなく、教養講座を取り入れるとともに、地域に応じた課題をテーマに開講する。	2. 概ね達成	状況の説明 情報化社会に対応するため市民ニーズの高かったパソコン講座やごみの減量化と元気野菜作りに取り組んでいただくため、生ごみたい肥づくり講座を開催した。
				12	32192	公民館講座や受講した講座の2年間の成果発表の場となる玉名市生涯学習フェスティバルを引き続き開催します。	公民館講座の1年間の集大成として生涯学習フェスティバルを開催し、公民館講座の普及啓発を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 平成26年度についても事業を継続し、平成26年度生涯学習フェスティバルには、展示部門13団体、舞台発表部門10団体が参加した。また、記念講演として元ラグビー日本代表の大畑大介に「夢を持ち続けることの大切さ」について講演いただいた。参加者も500人が来場され、公民館講座の普及啓発ができた。
				13	321A1	地域の身近な小・中学校、高等学校、九州看護福祉大学との連携を強化し、環境、高齢者、趣味などに関する多様な学習機会を創造します。	指導する方々との異なる世代間の交流を図り、豊かな人間性や社会性を育む。	4. 進行中(前半)	状況の説明 地域住民、小学校、ボランティア(学生等)と連携し、子どもたちが学ぶ場として、小学校の空き教室やスペースを活用して3校で放課後子ども教室を実施した。
				14	32211	子どもたちが学校や地域において、ボランティア活動や農業体験など多様な体験活動ができる体制づくりを、学校教育と連携して実施します。	子どもが自ら学び、自ら考え、判断していく「生きる力」をはぐくむことに努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 さまざまな分野で子ども達の学び、活動、体験ができるよう学校、地域と連携して、小学校の空き教室やスペースを活用して3校で放課後子ども教室を実施した。
				15	32221	地域の高齢者と子ども達の交流を地域と連携して推進します。	子どもたちが、郷土の歴史や文化に対する理解が深まる体制づくりに努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 子どもたちが郷土の歴史、文化についてふれ合えるよう、小学校の空き教室やスペースを活用した放課後子ども教室の中で地域の高齢者との交流を行った。
				16	32231	(社会教育の充実を図るための)人材育成、指導者養成を積極的に実施します。	社会教育の充実を図るため、社会教育団体の活動を通じて、人材育成を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明 青少年の健全育成、家庭教育に関する講演、将来を担うリカー育成、地域に根ざした女性の活動等各種社会団体を支援し、その活動を通して人材の育成を行った。
				17	32232	(社会教育の充実を図るための)各種研修を支援します。	社会教育の充実を図るため、研修の開催を支援し、人材育成に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明 親の学びプログラム(子どもの発達段階に応じて家庭で大切にすべきことなどを学ぶ)やアイズブレイク(緊張を取りほぐす手法)など小中学校に出向き実践し、家庭教育の地域リーダーの育成に努めた。
				18	32241	あらゆる分野において、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」である人権教育を推進します。	様々な人権問題の解決を自らの課題として考えられるような人権教育を行う。	2. 概ね達成	状況の説明 人権教育研究会を開催し、市民に人権教育について学ぶ機会を提供した。また、人権標語やポスターを募集し、家庭で個人の人権問題について考える取組を行った。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細々 施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
3	社会教育 施設の充実		5	32251	『玉名市家庭教育憲章』の理念に基づき、市民一人ひとりが家庭や家族、家庭教育の役割を見つめなおすことの重要性について、積極的に意識啓発を実施します。	市民それぞれが、玉名市家庭教育憲章を再度見つめ直し家庭の教育力向上の意識啓発に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由 計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しい。	
			6	32261	(社会教育の推進のため、)PTAや学校、地域、行政が一体となった連絡・調整機能を果たす場の形成を図ります。	社会教育団体等と連携を図り、さまざまな機会を活用しながら地域教育力の向上を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 PTA、学校、行政との連絡調整、連携を深めるため、教育について話し合う、教育懇談会や各社会教育団体等との定期的な調整会議に参加した。	
			32262	家庭における親子のきずなの形成や、基本的生活習慣の習得など、地域や家庭の教育環境の向上を目指します。	市民それぞれが玉名市家庭教育憲章を再度見つめ直し、家庭の教育力向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 各小中学校PTAを対象に家庭教育に関する講演会の実施を促し、家庭の教育向上を図った。		
			1	32311	玉名市文化センターなどの生涯学習環境の整備を図るため、施設と設備の充実にも努めます。	玉名市文化センターは築33年が経過し、施設や備品等の老朽化により、修繕や備品の更新が必要となっている。利用者が安心して利用できる施設とするために劣化状況に応じた補修、修繕等を行い、安全な施設管理に努めていく。	3. 進行中(後半)	状況の説明 老朽化していた第2研修室の机と椅子を一新するとともに、視聴覚室の排煙扉の交換修繕などを実施した。	
			32312	(玉名市文化センターは、)災害時の対策本部としての役割も担う施設でもあることから建物の耐震診断の実施を検討します。	昭和56年に建設された玉名市文化センターは、現行の耐震基準を満たしていないため、耐震診断を行う。平成25年度に耐震診断を実施し、耐震改修の要否を判断する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成25年度において事業完了。		
			1	33111	身近な地域でスポーツに親しむことのできるように、市民を対象とした総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。	地域の実態に応じた総合型地域スポーツクラブの育成及び設立の検討を行う。	5. 着手	状況の説明 玉名市体育協会主催の検討会議(6回)、勉強会(1回)に参加し、協議を行った。 平成27年度に総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を立ち上げるための準備を行った。	
	社会体育 の充実	1	生涯スポーツの推進	2	33121	市民スポーツを通して市民の交流を図り、健康づくり、体力づくりへの意識の向上を図ります。	ビーチボールバレー大会やグランドゴルフ大会など概ね10大会の市民スポーツ大会を継続して実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由 毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため
				33122	競技スポーツを通して競技力の向上と底辺拡大を図ります。 (※上記の施策No.33121に同じだったので、上記とともに修正しました。)	全国大会出場者等の激励及び競技スポーツ大会への補助により競技力の向上を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由 毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
				33131	体力や年齢を問わず、気軽に取り組めるグラウンドゴルフ、ペタンクなどのスポーツを普及します。	生涯スポーツとして誰でも楽しめるスポーツとして普及推進を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由 毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
				33141	学校教育や介護予防など組織間の連携強化を図り、子どもの体力づくり、高齢者の健康づくりの推進に努めます。	学校施設を夜間開放し、地域住民のスポーツ環境を提供。また、トレーニング室での各運動教室の充実を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由 毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
				33151	「だれでも、いつでも、どこでも気軽に参加できる」生涯スポーツの充実を図るため、各種スポーツ教室を開催し、競技力の向上を図ります。	スポレクフェアやペタンク大会、市民体育祭でのニュースポーツ競技などの推進を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由 毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
		2	社会体育指導者の育成	33211	各スポーツ団体などに研修会や講習会への参加を積極的に促し、社会体育指導者の育成を図ります。	スポーツ推進委員等を研修会に参加させ生涯スポーツの指導者の育成、また市体育協会へ補助金を交付し競技スポーツの審判、指導者の育成を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由 毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
		3	社会体育施設の充実	1	33311	健康増進や余暇活動としてのスポーツレクリエーションの拠点として、体育施設の体育施設の整備を推進します。	快適なスポーツレクリエーション施設としての機能維持を図り、安心・安全・公平な施設利用や施設整備を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由 毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため
				2	33321	新たなスポーツ活動、健康づくりの拠点としての施設整備などを検討します。	横島体育館の建替えを行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明 横島体育館建設に伴う地質調査及び実施設計の業務委託を行った。 建築年度:平成27年度、構造:鉄骨造平屋建 建築面積:1480.91㎡
		4	文化・芸術の振興	1	歴史・文化施設の充実	34111	博物館は、市民の文化的創造と享受に資するため、企画展などの充実にも努めます。	企画展に関連した催物や体験学習を実施する。	4. 進行中(前半)
34112	(博物館は、)子ども達が郷土の歴史や文化に触れるよりよい機会や体験学習の場となるよう、その活用を積極的に推進します。					体験及び随時受け付けの体験学習、催物(コンサート等)を年間スケジュールに従い実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 平成26年度は、年間22本の体験学習、催物19回(うちコンサート5回)を実施し、館の活用を行った。	
34121	(市内に数多く残っている国指定史跡をはじめとする文化財の)保存整備活用計画を作成します。					計画期間中(平成25~平成26年度)において、文化振興基本計画の中に文化財の保存整備及び活用における計画を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明 文化振興基本計画の中に文化財の保存整備及び活用における計画を策定した。	
34122	観光振興のため(貴重な文化財の)有効活用を目指します。					国・県指定をはじめ、貴重な文化財の保存と活用のための整備を進めるとともに、大坊古墳、永安寺東・西古墳等については一般公開を行うなど活用を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 装飾古墳一斉公開にあわせて、大坊古墳、永安寺東古墳の公開を行った。また、石貫穴観音橋穴、石貫ナギノ橋穴群についても、試験的に公開を行った。	
3	34131	市民会館(ホール)は、市民の集いなどや芸術文化活動の拠点施設としてふさわしいホールを整備するとともに、市内の文化活動の活性化に努めます。	平成26年度からの2か年で行う基本設計に沿って、28年度に実施設計を進め、29年度には本体工事に着手、30年12月までの完成を目指す。	5. 着手	状況の説明 平成26年8月に建設位置を「市民広場公園」と決定。同年12月から27年9月末までの予定で基本設計を行っている。				

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)							
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 目 番 号	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内 容		
	2	文化交流活動の推進	1	34132	市内の文化活動の活性化に努めます。	文化協会との共催による市民文化祭を市民会館で実施することにより、文化活動の活性化を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 市民文化祭の市民会館ホール(舞台部門)では、伝統文化芸能、日舞、コーラス、音楽、新日舞、ダンス、市民会館事務所棟では、文芸(俳句、短歌、肥後狂句、川柳)などの発表、展示を行った。			
				34141	文化協会や各種団体の育成強化に努めます。	文化協会が実施する事業を自立的に実施できるよう事業費補助や人的支援を継続的に実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成26年度は、玉名市文化協会補助金(2,000,000円)を交付した。また、文化協会運営の面で、会議等に参加し、適宜必要な助言等を実施した。			
				34211	市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図ります。	市民文化祭を実施し、広く市民に参加を促すことにより市民の自主的かつ創造的な活動を支援することにより文化活動の向上を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 市民文化祭の展示部門が勤労者体育センターで開催され、一般公募を行い協会員以外の市民の作品を展示した。また、園芸関係は市民会館事務所棟、市民広場では菊花展が開催された。			
				34212	地域の身近な文化に接する機会を提供します。	伝統文化こども教室の開催を支援することにより、機会を提供する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 和装礼法、華道、神楽の3教室が補助事業として採択され、市内小・中学生を対象に開催され、習得された技術の展示や発表会等を開催された。			
				34213	郷土の歴史や文化、芸能、芸術に対する理解と愛着心を育成します。	地域の文化の向上及び発展のため、補助金・奨励金の交付を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明 全国大会出場奨励金(少年少女囲碁大会、神楽フェスティバル、創造ものづくり教育フェア)、玉名市文化協会、大野下奴語り保存会、横島湯掛い節保存会、信明太鼓振興会へ補助金を交付し、適宜運営に必要な助言をした。			
				34221	地域文化の振興を図ります。	市民文化祭等で次世代を担う子供達に地域文化の継承を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明 市民文化祭の舞台発表において、子どもの発表を取り入れたり、子ども神楽保存会に補助金の交付を行い、地域文化の継承に取り組んだ。			
				34222	芸術文化団体や市民とともに協働して市民文化祭の充実を図ります。	市民文化祭の開催により芸術文化団体の後継者育成を充実させる。	4. 進行中(前半)	状況の説明 文化協会が主催となり市民文化祭として加盟団体が一体となることで、後継者育成につなげている。また、広く市民に周知し参加の機会を増やし興味をもってもらうことで、後継者確保に繋げている。			
				3	歴史・文化を活かした地域づくりの推進	1	34311	郷土の歴史と文化について幅広い見識を持ち、文化財の保護と活用の中核となる人材を育成します。	地域において活動する歴史、文化活動グループ等と連携しその人材育成に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明 玉名市文化協会やNPO法人高瀬殿の活動への出講などを通じて、人材育成に努めた。
							34321	伝統芸能は、保存団体とともに積極的な後継者育成を図ります。	次世代を担う子どもたちへの啓発事業に対して、玉名市神楽連絡協議会等と連携を図りながら積極的に支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 玉名市神楽連絡協議会、横島湯掛い節保存会などの団体に補助金交付などを通じて支援を行った。
							34331	感性を豊かにする知的で創造的な地域の芸術文化活動は、その発掘を推進します。	玉名市アーティストバンクを実施する。(音楽家、作家、画家等の芸術活動を行う人材を集積し登録する)また、芸術体験の機会を提供する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 玉名市のホームページに掲載。登録者数をふやすため、文化協会等にも呼びかけ、推進を張っている。現在の登録者数は8件である。また体験の機会として、アウトリーチ事業を実施している。
							34332	(地域の芸術文化活動は、)新たな担い手の育成に努め、補助制度などを活用した支援を実施します。	市独自の制度を活用し、芸術体験の機会を提供することにより地域の次の担い手に繋いでいく。	4. 進行中(前半)	状況の説明 玉名市アーティストバンクの登録者・団体を地域の担い手に体験の機会となるよう、市のホームページなどで公開しその活用を図っている。
				5	国際交流活動の推進	1	国際交流活動の推進	35111	玉名国際交流協会をはじめとする民間の国際交流団体と協働での活動を実施します。	友好・姉妹都市からの訪問団の受入れの際には玉名国際交流協会とタイアップして歓迎会等を開催する。また、友好・姉妹都市への公式訪問の際には、協会より1名以上の参加を依頼する。	3. 進行中(後半)
	35112	市内在住外国人の生活支援のあり方について検討します。	玉名市在住及び転入された外国人の方々向けに英語標記の生活マニュアルブック(仮称)の作成を検討する。					6. 未着手	未着手の理由 本市独自の生活マニュアルブック(仮称)の作成は費用対効果を総合的に検討し、当面は見送ることとした。その代替として、(財)自治体国際化協会が作成した「多言語生活情報」の利用推進を図る。		
	35121	米国クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、引き続き定期的な相互訪問を実施します。	姉妹・友好都市と引き続き定期的な相互訪問を実施する。具体的には、平成24年度に瓦房店市に公式訪問、平成26年度にクラリダ市に公式訪問、平成27年度に瓦房店市、クラリダ市から公式来訪を予定。					4. 進行中(前半)	状況の説明 平成26年度は姉妹都市であるクラリダ市へ、市長を団長とする総勢12名で公式訪問した。		
	35122	(米国クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、)教育、産業、文化、医療などの分野においての地域資源を生かした交流を推進します。	クラリダ市への公式訪問時には教育交流の一環として市内の中学生を公費により同行させ、若年者の国際感覚と国際的視野の醸成を図る。また、本市の地域資源を生かした姉妹・友好都市との交流は、国際交流奨励補助金を支給し推進する。					4. 進行中(前半)	状況の説明 平成26年度はクラリダ市への公式訪問団の一員として市内中学生2名を同行させた。また、玉名女子高吹奏楽部のクラリダ市訪問に伴い、国際交流奨励補助金を支給した。		
	2	国際感覚豊かな人材の育成	1			35211	外国語指導助手(ALT)を配置するための外国青年招致事業などを積極的に展開します。	JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)によりALT(外国語指導助手)を招致し、小・中学生の語学力とコミュニケーション能力の向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 熊本県及び自治体国際化協会を通して、現在6名体制で小・中学校での英語教育を実施している。	
						35212	国際理解を深めることを手助けするボランティアの活用と育成に努めます。	国際理解を深めることを手助けするボランティアを募り、人材バンクという形で登録をし、学校教育の諸活動の中で活用する	6. 未着手	未着手の理由 具体的な計画が策定できていない。国際理解を深める観点から、ボランティアの活用内容について検討、整理していく必要がある。	
			2				35221	海外での国際交流や外国人のホームステイを受け入れる市民に対し、活動経費の一部を国際交流奨励補助金により支援します。	市民が外国人のホームステイを受入れる際や、海外へ国際交流を目的として訪問する際は、その活動経費の一部を国際交流奨励補助金により支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 平成26年度の国際交流奨励補助金の交付実績は、補助件数22件、補助人数48人(ホームステイ受入:16人、海外研修:22人)、補助総額376,000円であった。
							36311	「音楽の都 玉名」にふさわしいイベントを積極的に支援します。	「音楽の都玉名」づくりプロジェクトチームで政策推進ビジョンを作成する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 政策推進ビジョンに従い、各部署において事業を行った。
	6	「音楽の都 玉名」づくり	3	「音楽の都 玉名」づくりの推進	1	36311	「音楽の都 玉名」にふさわしいイベントを積極的に支援します。	「音楽の都玉名」づくりプロジェクトチームで政策推進ビジョンを作成する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 政策推進ビジョンに従い、各部署において事業を行った。	

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)						
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 目 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
								項目	内容	
4 活かしてい る産業の まちづく り	1 農林業の 振興	1 6次産業 化の推進	1	36312	音楽をとおして、感性豊かな人間形成と まちづくり、芸術文化レベルの向上を目 指します。	将来の担い手である、小中学生等にアウトリーチ事 業を行う。	3. 進行中(後 半)	状況の 説明	市内小学校や保育所等26か所において、音楽家を 招へいし音楽にふれる事業を実施。この事業を通し、 感性豊かな心を育てるべく、音楽の都「玉 名」の推進を図った。	
				36321	「グリーン・ミラー音楽祭in玉名」を実施する 団体の活動を引き続き支援します。	「グリーン・ミラー音楽祭」を実施する団体への補助を 今後も継続する。	4. 進行中(前 半)	状況の 説明	平成26年度は「グリーン・ミラー音楽祭」が開催されな かったため、補助金の支出は行わなかった。	
		2	1	41111	本市で生産する農林水産物を活かして生 産から加工、販売までを実施する事業者 を支援します。	平成28年度までに、本市の農林水産物を活用し、6 次産業推奨品を20品目にするを目標とする。 ※6次産業推進事業補助金(平成23～平成28)	1. 達成 (完 了)	状況の 説明	平成28年度までに、本市の農林水産物を活用し、6次 産業推奨品を20品目にするを目標とする。 ※6次産業推進事業補助金(平成23～平成28)	
				41112	6次産業推進交流会を開催するなどして6 次産業への参入のための環境整備を図り ます。	玉名市内における1次産品を活用し、新たな地域産 業を育成するため、各分野の交流及び情報交換な どを目的に年4回開催する。	1. 達成 (完 了)	状況の 説明	玉名市内における1次産品を活用し、新たな地域産 業を育成するため、各分野の交流及び情報交換など を目的に年4回開催する。	
		2 農産物の 振興	1	1	41211	JAや生産者代表などの関係者、市ブラン ド関係部署などと連携・協力し、更なる 「玉名ブランド」の確立に向けて、消費者 ニーズに対応した品種選定や高品質化 技術の普及による生産を推進します。	玉名市の認知度を向上する目的で開催されている 「玉名市認知度向上キャンペーン」に、6次産業者が 自ら参加(出展)、販売会(市場調査・テストマーケ ティング)の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の 説明	玉名市の認知度を向上する目的で開催されている 「玉名市認知度向上キャンペーン」に、6次産業者が 自ら参加(出展)、販売会(市場調査・テストマーケ ティング)の場を提供する。
					41212	大消費地などでのトップセールスや玉名 フェアなどを開催して、農産物の消費拡 大や知名度向上、「玉名ブランド」化に努 めます。	6次産業推進の成果発表の場として、「6次産品フェア 」を開催し、本市の6次産業及び6次産品の周知PR を目的に開催する。	1. 達成 (完 了)	状況の 説明	6次産業推進の成果発表の場として、「6次産品フェア 」を開催し、本市の6次産業及び6次産品の周知PR を目的に開催する。
	41221				県が進めている「くまもとグリーン農業」 へこれまで以上に農家や団体などの参加を 促し、化学肥料や農薬の低減と堆肥など の有機質の活用による環境にやさしい農 業を推進します。	くまもとグリーン農業参加者のみが使用できる表示 マーク(くまもんマーク)を使い、農家及び消費者に対 し、くまもとグリーン農業自体の周知を図る。	1. 達成 (完 了)	状況の 説明	熊本県と連携し、情報提供及び補助説明に努めてい る。「玉名市認知度向上キャンペーン」に、6次産業者 が自ら参加(出展)、販売会(市場調査・テストマーケ ティング)の場を提供する。	
	3		1	41222	多様な機会を通じて農産物の地産地消 の普及に努めます。	認定農業者を中心にイベントに参加し農産物の販 売、PRを行い地産地消を図る。	3. 進行中(後 半)	状況の 説明	福岡市内でのイベント及び玉名市産業祭において出 店を行った。今後も継続していく。	
				41231	県、周辺市町、関係機関、被害地域と連 携・協力しながら実効性ある(有害鳥獣によ る)被害対策を推進します。	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円か ら平成28年度末までに被害額を50%減である7,755 千円以下を目標として、玉名地域鳥獣被害 防止対策協議会を主とした広域的かつ 多様な事業を実施する。	2. 概ね達成	状況の 説明	県、周辺市町、関係機関、被害地域と一体となった被 害対策を実施してきた結果、前年度に目標は概ね達 成できた。しかし、被害地域の拡大に伴う被害 防止対策協議会の広域的かつ多様な事業の推進を行 う。	
				41232	防護施設整備など(有害鳥獣による)被害軽 減のための取組を図ります。	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円か ら平成28年度末までに被害額を50%減である7,755 千円以下を目標として、国、県及び市の事 業により効果的な防護施設整備を実施するととも に、玉名市有害鳥獣捕獲隊に年間を通して捕獲事 務委託をすることにより有害鳥獣の個体数調整を図 る。	2. 概ね達成	状況の 説明	国の補助事業である鳥獣被害防止総合対策事業に より広域的な防護施設整備を実施したことにより目標 を達成することができた。しかし、被害地域の拡大に 伴う被害防止対策協議会の広域的かつ多様な事業の 推進を図る。また、先進的な捕獲方法による 有害鳥獣の個体数調整も併せて実施していく。	
	3 農業基盤 整備の推 進	1	1	41311	基盤整備や農業用排水施設整備、農 道整備などを推進し魅力ある農地づく りに努めます。	玉名市としては、補助事業を活用し、基盤整備によ り、区画等の整備を計画的に行い、その後農業用 排水施設整備・農道整備を行い、優良な農地づく りに努める。	4. 進行中(前 半)	状況の 説明	平成26年度末までにおいて、計画している15か所の うち、2地区の整備を完了した。H27年度以降も補助 事業を活用し、平成30年度までの完了を目指している。	
				41312	耕作放棄地の解消を進め、効率的かつ 安定的な農業生産を目指します。	平成20年度から平成25年度の間、耕作放棄地の解 消を促すための解消費用の一部を助成し耕作放棄地 の解消を図る。	3. 進行中(後 半)	状況の 説明	耕作放棄地解消申請の補助金等に対し補助金を 交付した。今後も継続していく。	
41313				恒常的な浸水が毎年見受けられる地区 は積極的な排水対策の実施に努めま す。	玉名市に23排水機場がある。供用開始からすでに 25年以上の機場が16箇所あり、平成25年度から年 1機場の更新採択に努める。	4. 進行中(前 半)	状況の 説明	県営事業及び補助事業である土地改良施設適正化 事業により、平成26年度においては、緊急性等考慮 した上で、6力所の機場における修繕及び更新実施 中である。		
2		1	41321	海岸保全施設の整備を推進します。	玉名市の海岸保全施設の整備として、玉名横島地 区は、国営事業で、佐明・天水地区は、県営事業で 継続的に整備を行う。	3. 進行中(後 半)	状況の 説明	国営事業において横島地区と玉名地区の一部の堤 防補強工事、潮遊池工事等を実施し、また県営事業 において共和地区、高道地区、受免地区、横島地区 の一部の高潮対策工事を平成26年度に実施されて いる。		
			4	1	41411	畜産農家への衛生管理の指導に努め、 家畜伝染病の発生の防止を図ります。	平成26年度までの間、農業者の家畜防疫に要する 経費の一部を補助し、発生時の被害が甚大な家畜 伝染病を未然に防止する。	8. 評価不能 の理由	評価不 能の理 由	経費の一部補助は予算の範囲内で行う経常的業務 である。その他家畜伝染病の未然防止に努めている が、その発生は予測不可能であるため具体的な数値 的目標の設定が困難である。
					41412	消費者の信頼を得る安心安全な畜産物 生産の推進に努めます。	県、農協などと共同で飼料、器具、繁殖、ふん尿 処理など品質と生産の向上に繋がる情報提供発信を 行う。	8. 評価不能 の理由	評価不 能の理 由	概要が抽象的であり、数値的目標の設定が困難であ る。
5 農業経営 者の育成 と受皿づく り	1	1	41511	農業に関する情報発信の積極的な実施 により、農業経営に意欲を持つUターンや Iターンなど転入者の新規就農を促進し ます。	県、農協などと連携を密に取りながら農業に関する 情報発信を行う。	4. 進行中(前 半)	状況の 説明	認定農業者協議会等の各関係団体の総会、役員会 などの機会に情報周知を行っている。		
			41512	多様な担い手の参入なども視野に入れ、 地域との協働のもとに農業の受け皿づく りに努めます。	新規事業の実施により新規就農の増加を図る。また 県、農協、地元農協委員の協力を得ながら、空き農 地や国、県の補助事業の情報提供を行う。	4. 進行中(前 半)	状況の 説明	認定農業者協議会等の各関係団体の総会、役員会 などの機会に情報周知を行っている。		

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)							
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)				
								項目	内 容			
1 農産物の生産性の向上	6 農産物の販路拡大	1	1	41513	農業関係機関と連携し、認定農業者や農業後継者の育成を図ります。	担い手育成総合支援協議会(県、農協、農業委員会等)において、年度計画を作成し、認定農業者、農業法人、集落営農組合、新規就農者を支援、育成する。	2. 概ね達成	状況の説明	1地区において、集落営農組合が農業法人格を取得成立した。			
				41611	補助事業などの制度を活用し、農産物の直売所を設置するなど農産物の販路拡大に努めます。	国及び県からの情報を収集し、関係団体等への情報提供を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	近畿地方、海外でのトップセールスを実施した。			
				41711	関連団体との連携による交流プログラムなどの開発を推進し、グリーンツーリズムの取り組む意向を持つ農家などの支援を図ります。	国、県から情報収集を行い、関係団体と連携し情報提供を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由	グリーンツーリズムの推進については、農業担い手支援のみならず、定住促進にも係ることなので単独課での取り組みに対しての評価は困難。			
				41811	1	林道の維持・保全や利活用を図ります。	林道としての機能を失った路線の廃止も含め、管理林道の再編を行う。林道の維持管理は業務委託を行うことにより利用者の安全を確保する。自然公園内にある林道は、公園利用者のための案内標識の整備を行い利便性の向上を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	林道の維持管理については、利用者の安全を確保できている。公園利用者のための案内標識については、関係団体等と設置箇所の検討を行い、随時整備中である。また、林道の再編については、検討中である。		
						41821	不正な山林開発行為の防止を図ります。	森林の土地の所有者となった旨の届出制度、伐採及び伐採後の造林の計画の届出制度及び林地開発許可制度等を円滑に実施し、制度違反者への命令及び処分等を徹底し、不正な山林開発行為の防止を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	県、関係団体等と山林のハトールを実施し、不正な開発行為防止を図っている。無届の伐採等が確認された場合には、所有者への聞き取り等を実施している。また、各種制度の周知を広報誌等を利用し推進している。	
						41831	林業を通じた管理が困難な森林や管理放棄された人工林については、針広混交林や広葉樹林化など、公益的機能の維持・増進を図り、健全な森林づくりに努めます。	玉名市森林整備計画に基づき公益的機能の維持、増進を図るため、国、県、森林組合等で相互に連携を密にし、森林の主伐、間伐、保育及び伐採跡地への植栽等、適確な森林の更新を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	人工林資源が利用可能な状況になりつつある中、適切な森林整備の推進を図るため、玉名市の実状に応じて森林整備が効率的に実施しうよう森林整備計画の変更を行った。	
				2 水産業の振興	1 漁業・水産基盤の整備	1	42111	県と各漁協と連携して、漁場の管理と資源管理中長期的な計画を実施し、覆砂、耕うん、種苗の放流、有害物の駆除、堆積物の除去などの漁場環境の保全・整備を図ります。	県、各漁協と連携し、複数の補助事業を活用しながら漁場環境の保全・整備を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	水産基盤整備交付金事業を活用し覆砂、耕耘、種苗の放流、有害物の駆除、堆積物の除去を行った。これらからも中長期的な展望に経った漁場環境の保全・整備を行って行く必要がある。
							42121	漁港などの漁業基地は、『水産基盤整備長期計画』に基づき整備を推進します。	「水産基盤整備長期計画」に基づき、施設の利便性と安全性の向上を目指し、漁港整備を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	滑石漁港整備事業(野積港)にて舗装面積2,387m ² の整備を行った。
	2 漁業生産の向上	1	1	42211	水産物の生産性と品質の向上を図り、安全で安心な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進します。	各漁協と連携し、水産物の生産性と品質の向上を図り、安心な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各漁協に対して補助金を交付し、漁場整備やアサリ稚貝や稚漁の漁場放流等を行うと共に、県と連携したアサリ生息状況調査や漁協と連携した漁港漁場施設の清掃活動を行った。			
				42221	稚魚放流事業の取組や魚類の産卵場の維持管理を促進し、河川本来の資源再生産力の復元に努めます。	菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町と連携し、河川の資源再生に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町で連携し、繁殖保護・人工種苗中間育成・外来魚、カワウ等の駆除・漁場管理対策等を行いながら河川本来の資源再生、生産線の復元に努めている。			
	3 漁業経営の安定化の推進	1	1	42311	漁業者の高齢化対策や担い手の育成と確保のため、協業化を促進し生産体制の合理化を図ります。	県、各漁協と連携し、漁業者の高齢化対策や担い手の育成を進め、協業化し生産体制の合理化を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町で連携し、繁殖保護・人工種苗中間育成・外来魚、カワウ等の駆除・漁場管理対策等を行いながら河川本来の資源再生、生産線の復元に努めている。			
				42321	補助事業の活用により(漁業)の生産体制の組織化を図るとともに、生産性の向上が図られるような共同施設の整備を推進します。	県、各漁協と連携し、生産体制の組織化を進め、生産性の向上のため共同施設の整備を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	水産基盤整備交付金事業により、ノリ養殖業の安定的生産のため、冷凍網保管用冷蔵庫の改修を行った。			
	3 製造業・工業の振興	1 新規企業の誘致	1	43111	市内6箇所の工場適地のPR活動を更に積極的に実施するなどして優良企業の誘致に努めます。	毎年度1社以上の新規企業の誘致又は既立地企業の増設協定の締結を目指す。	5. 着手	状況の説明	新規企業の誘致及び既立地企業の増設の協定とも実現しなかった。			
				43112	企業誘致地点の有利性のある工業団地整備など、経済状況の改善など社会情勢の変化を見守りながら可否を判断します。	誘致しようとする企業が、どのようなインフラ整備を必要としているのか面談の中で情報収集に努める。	5. 着手	状況の説明	長期化する円安傾向や中国経済の減速など、製造業を取り巻く情勢は不透明感が強いが、市内工場適地の多くが太陽光発電用地になった現状を踏まえ、工業団地整備の必要性は高まっていると判断している。			
		2 地場企業・起業家の支援	1	43211	高度な技術を習得するための研修会やセミナーなどの開催を支援します。	先端技術波及促進協議会の市町会員として、研修会やセミナーへ参加することで、企業の技術習得に繋げる。	5. 着手	状況の説明	就業者の技能向上と人材育成を支援する「ひのくに道場」や「田原塾」、「中小企業大学校」を受講する企業に対し協議会より補助を行った。			
				3 就業対策の推進	1	43311	公共職業安定所などと連携し、若者の地元就業や失業者の再就業を支援し、雇用機会の拡大を図ります。	公共職業安定所を訪問し、市内の雇用情勢及び状況等を把握するため、情報交換及び意見交換を行う。	5. 着手	状況の説明	公共職業安定所と情報交換を行い、玉名地域の有効求人倍率や雇用情勢等を把握することで、今後の雇用対策について検討を行った。	
		43312	若者の就業などの相談窓口である地域若者サポートステーションなども連携し、若い働き手の地元就業の機会拡大を図ります。			たまな若者サポートステーションと連携し、長期間にわたり仕事についていない若者の相談や支援プログラムを通しての社会参加を支援する。	5. 着手	状況の説明	たまな若者サポートステーションと連携し、取り組み等をホームページや広報たまで告知することで、働くことに悩みを抱えている若者に対し労働意欲の向上や職離れの現象につながった。			
					43321	企業が求める人材を育成するための研修会やセミナーを実施する団体を支援します。	玉名高等職業訓練校やポリテクセンターと連携し、人材育成に係る業務を支援する。	1. 達成(完了)	状況の説明	玉名職業訓練校へ補助金を交付し、就業者の技能向上を図ることで、人材育成の支援につながった。		

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)							
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内 容		
4 商業の振 興	1 商店街・ 商業者の 支援			43322	企業が求める人材を育成するための学習機会の創出を図ります。(※研修会やセミナーを実施する団体の支援を除く。)	企業に求められる技能や資格を取得することで、目標を持って就労に取り組むよう指導する。	6. 未着手	未着手の理由	企業が求める人材や実態を把握しておらず、具体的な技能や資格について検討を行っていないため。		
				3	43331	高齢者のニーズを踏まえた就業支援を実施します。	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、高齢者等就業支援センターでは、技術習得や余暇充実の講座を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	シルバー人材センターへ補助金を支給し、センターへの運営安定を図った。高齢者就業センターでは、技術習得や余暇充実のための講座を開講した。	
				1	44111	商業者などを対象にした各種研修会の開催(を推進します。)	商業者を対象に国の制度等の情報提供を行い、また、新たな事業を積極的に取り組み、商工業者の意識の向上や活性化を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	商業者を対象とした玉名市商工業振興連絡会議を開催し、国の制度等の情報提供を行った。その中で街路灯のLED化や防犯カメラ設置など活性化につながる新たな取り組みを行った。	
				4	44112	経営支援、創業支援、市街地に点在する空き店舗や空き地の再生、活用など、商業の総合的な改善を推進します。	地域商店街の活性化を図るため、市街地に点在する空き店舗や空き地の状況を把握し、総合的な改善を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	「玉名市空き地空き店舗対策事業補助金」の活用を積極的に促したが、事業実施に至らなかった。また、創業支援事業計画書を作成し国の認定を取得することにより、今後創業者に対しさらなる支援を図る。	
				2	44121	商工会議所や商工会など関係団体を支援します。	経済団体の核となる玉名商工会議所、玉名市商工会を財政的に支援し、本市の商工業及び経済の発展に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名商工会議所、玉名市商工会へ補助金を交付することで、市内商工業者の発展、振興につながった。	
				3	44131	個性的で魅力的な商店街の形成や機能的な市街地空間の創出に努めます。	商店街のそれぞれの個性や特色を情報発信する方策を講じ、魅力的な商店街を形成する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	国の補助制度を提案し、街路灯と防犯カメラ設置を推進することで、安全安心な商店街づくりに取り組んでいる。	
					44132	商店街の空き地や空き店舗を有効に活用する方策を引き続き検討し、実施可能なものから適宜、実施します。	地域商工業の活性化に寄与するため、商店街に点在する空き地や空き店舗の有効活用を関係機関と連携し検討する。	5. 着手	状況の説明	玉名商工会議所、玉名市商工会と連携し、創業支援事業計画書を策定する中で、空き店舗を活用した新規事業について支援する検討を行った。	
				2 商業活性化の推進	1	44211	玉名の恵みを取り入れたイベントを開催します。	イチゴ、みかん等の期間限定の農産物、水産物をイベントの中でPRし、玉名の地域資源を生かした商業の活性化を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	6次産業推進室や農林水産政策課と連携し、いちごやみかんの期間限定の農産物を渋谷フェスティバル(11月)、関西ふるさとフェア(2月)へPRすることで販売促進につなげた。
					44212	新たな顧客づくりのための支援を実施します。(※上記のイベントの開催を除く)	トマト、イチゴ、みかんなどを取り入れた玉名ブランド認定品パンフレットを作成し、新たな顧客確保を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度で玉名ブランド認定品のパンフレットを4,000部を印刷しているため、引き続きPR及び配布を行った。	
		44213	温泉や歴史、文化、まちなみなど玉名の地域資源を活かした商業の活性化を図ります。	「高瀬裏川花しょうぶまつり」、「玉名温泉まつり」などのイベントを継続的に取り組み、商業の活性化を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	高瀬商店会、西部地区繁栄会、玉名温泉において玉名市商店街イベント事業助成金を活用し、地域の特色を活かしたイベントを開催された。				
		2	44221	沿道緑化、街灯整備、ファサードなどの整備を推進します。	商店街が取り組む街灯整備等を積極的に支援し、安心・安全な街づくりを推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	安全・安心な商店会を目指し、市内の4商店会において街路灯のLED化、防犯カメラの設置に取り組んでいる。			
		3	44231	地域のまちづくりと一体となった商店街づくりを推進します。	商店街の活性化に資する地域のまちづくりの一環として開催されている各イベントを支援する。	1. 達成(完了)	状況の説明	高瀬商店会、西部地区繁栄会、玉名温泉において玉名市商店街イベント事業助成金を活用し、地域の特色を活かしたイベントを開催された。また、玉名商工会議所が主体となる、「玉名納涼花火大会」が開催され、約80,000人の来場者で賑わいをみせた。			
		4	44241	大型商業施設の跡地や市街地に点在する遊休地については、都市政策や街なか居住を推進し市街地機能の充実を目指します。	大型商業施設の跡地は玉名市中心市街地活性化基本計画に沿って活用を図る。また、市街地に点在する遊休地は、今後の居住推進に向けた活用を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	用地取得後、平成22年度4月に地域交流を図る公園として基本計画を策定したが、当面は駐車場として活用しているところである。今後は整備費用や中心市街地活性化基本計画の見直しも含め、検討を進めている。			
		5	44251	食料品などの日常生活必需品の買い物などが容易にできるような、高齢社会にも対応した人ややさしいまちづくりを推進します。	生活必需品等の買物に不便を感じる高齢者が増えてきているため、市内の「買物弱者」における実態を把握するとともに、今後の対応と方向性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	「買物弱者」については、現状及び実態を把握しておらず、今後の方向性が決まっていないため。			
		6	44261	にぎわいがあり人の生活に便利な商店街を目指して、店舗の共同化や協業化を支援します。	商店街各店舗の共同化や協業化を図ることにより、便利な商店街でつくりを検討する。	6. 未着手	未着手の理由	商店街の協同化や協業化について、現状及び実情の把握ができておらず、商店会や商工業関係団体と具体的な方向性を検討する必要がある			
		7	44271	商業地、商店街などで取り組む各種イベント事業や販売促進事業など、がんばる商店街を支援します。	市内商店街において各種イベントを開催することで、地域コミュニティとしての商店街づくりに取組み併せて販売の促進及び活性化に努める。	1. 達成(完了)	状況の説明	高瀬商店会、西部地区繁栄会、玉名温泉において玉名市商店街イベント事業助成金を活用し、地域の特色を活かしたイベントを開催された。			
		3 消費者の保護の強化	1	44311	関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保に当たります。	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するためにも、関係団体との連携により消費生活における安全の確保に当たる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	消費生活問題の早期発見、早期解決を図るためにも市内はもとより関係団体(社会福祉協議会、包括支援センター、相談支援事業所、警察等)とも連携して、迅速かつ適切な対応ができるような組織作りを進めている。		
				44312	(関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保のための)普及啓発を推進します。	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するために消費者に対して消費者トラブルの解消に向けた普及啓発活動を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	高齢者や若者を狙った悪質な消費者被害が増えてきている。そのため高齢者、大学生に向けての啓発講座の実施や、啓発パンフレット、暮らしの豆知識を相談者や講座受講者、各種相談員等へ配布したり、広報紙への啓発記事の定期的な掲載により啓発を図った。		

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)			
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
							項目	内容
5	観光の振興	1 広域観光ネットワークの推進	1 45111	近隣市町をはじめ菊池川温泉郷など県北全域との連携を図り、魅力ある地域資源を活かした広域観光ルートの開発と商品化を図ります。	菊池川流域自治体と連携強化し、九州、関西等へ県北広域の観光PRを行い誘客を図る。また、島原半島等、歴史・物語や交通インフラ等につながる横軸に観光連携を拡大する。	2. 概ね達成	状況の説明	関西以西から福岡都市圏をメインターゲットに設定し、菊池川流域自治体が一体となって観光PRを実施。福岡都市圏からのモニターバスツアーや県北観光動画CMを作成。また、有明・島原地域観光連携協議の立ち上げに参画し、テーマに沿った共通パンフを作成するなど連携を拡大した。
			2 45121	観光振興基本計画を策定し、観光地間のアクセス性の向上や観光資源の整備に努めます。	観光振興計画を策定することで、玉名固有の資源を有効的・効果的に活用する手法を観光関係者と連携を図り確立する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成25年3月に「玉名市観光振興計画」を策定。策定後は、観光関係者を任意で定期的に招集する「玉名観光戦略会議」において、振興計画中の観光戦略アクションプランの進捗状況の確認及びワークショップや意見聴取を行った。
			1 45211	外国語標記も含めてすべての人に分かりやすい誘導サインなどの整備を図ります。	観光地や観光施設などへのスムーズな案内を促すため、多言語表記や、拠点施設におけるサインを整備する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	荒尾・玉名地域サイン計画推進協議会において、新たなサイン整備と計画を協議するとともに、玉名観光協会と連携して県内外に設置されている屋外広告塔及び看板等の調査を行い、老朽化対策や再編計画を検討。結果、老朽化し危険度が高く存在意義が薄い広告塔の撤去を行った。
			2 45221	観光ホームページや観光パンフレットの内容の充実を図ります。	観光ホームページや観光パンフレットの内容の充実を図るため、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	2. 概ね達成	状況の説明	市HPのリニューアルに合わせ観光ページも一新。観光パンフレットについては、年間を通して利用できる総合パンフレットの修正のほか、幅広い観光客のニーズと着地型観光プログラムを意識した旬な観光情報を提供する春・夏号、秋・冬号を作成した。
		3 45222	玉名温泉街をはじめまじだつ観光地・観光施設、イベント・祭りなど新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報の提供に努めます。	新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報を提供するため、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	2. 概ね達成	状況の説明	市HPのリニューアルに合わせ観光ページも一新。観光パンフレットについては、年間を通して利用できる総合パンフレットの修正のほか、幅広い観光客のニーズと着地型観光プログラムを意識した旬な観光情報を提供する春・夏号、秋・冬号を作成した。	
		2 45231	「観光ほっとプラザ『たまらう』」を拠点として、玉名をはじめ県北地域の情報発信に努めます。	ターゲット毎のPRプランの設計、ターゲット毎の観光キャンペーン・観光セミナーの開催、福岡県・熊本県のメディアへの情報発信を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	補助金、助成金、受託事業を積極的に活用し、県北の近隣市町とも連携、県北の拠点施設として情報発信するだけでなく、玉名市キャンペーンレディを活用した観光PRやポータルサイト「たまらう」並びにiCOTC(スマホ・ブログ等)を活用した情報発信に努めた。	
		3 特産・物産品の開発と販路拡大	1 45311	玉名ブランド認定品を推奨します。	玉名ブランド認定品29品目を各種観光物産展において紹介、販売し、認知度の向上に努める。ラジオ、テレビ、雑誌の視聴者プレゼントなど、機会あることに提供し、認知度の向上に努める。	1. 達成 (完了)	状況の説明	「渋谷フェスティバル」、「関西ふるさとフェア」、「広島フラワーフェスティバル」など都市圏で開催されるイベントへ出展し、県外の顧客へPRすることで、玉名の認知度向上に努めた。また、その際に新聞やテレビ等の各メディアをとおし、広告宣伝や視聴者への商品提供を行った。
			2 45312	新たに地域ブランド推進による地域振興を図ります。	今後の玉名の地域発展のための活動の御旗とするため、ブランドメッセージやロゴ等を市民提案型にて作成する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成25年3月に「玉名市ブランド化戦略プラン」を策定。企業のマーケティング手法を用いて「地域づくり・まちづくり」に応用。市民投票によるブランドロゴ・ステートメントを作成した。「キラリかがやけ」は、名刺のロゴや各イベント名の冠として活用。
	2 45321		販路拡大のため、ブランド認定品などを地域イメージと結びつけ県内外のイベント出展や商談会、チラシなどでPR活動を行います。	「玉名と言えば○○。」と言われるように、地域イメージとしての定着を目指し、各種イベントや物産展、商談会などに積極的に参加し、販路拡大に努める。	1. 達成 (完了)	状況の説明	関東、完成、福岡方面で開催される物産展等の催事へ参加し、ブランド認定品、物産品のPRに努めた。また、3市(玉名・山鹿・菊池)合同により大阪にて開催された「第18回 買いませ! 売れ筋商品発掘市」へ参加し地域のブランド認定品、物産品の売り込みを行った。	
	4 観光資源の魅力創出		1 45411	健康志向が益々高まる中で薬草などの地域資源を使った観光商品の開発(に努めます。)	温泉、薬草料理等を活用し、九州看護福祉大、小岱山薬草の会、温泉組合等が連携し、美と健康をテーマにした観光商品開発を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各関係団体と連携して「美・健康・癒し」をテーマにした観光商品の開発実現に向け、体験プログラムとしての方向性について協議を行うとともに旅行会社にも観光商品となりうるか助言を求めた。
		2 45411	玉名飯湯治場など九州看護福祉大学などとも連携を図り「玉名へまた来たい。」と思っただけのしくみづくりに努めます。	九州看護福祉大学の鍼灸診療と玉名温泉の各旅館とが連携を図り、健康と癒しをテーマにした体験型観光の推進を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	平成25年度末の進捗状況の説明時にも指摘しましたが、上記と目標が同一であるため不要な項目と判断します。	
		2 45411	観光地や温泉旅館などでの「おもてなし」を通じ観光客のニーズを踏まえた玉名へのリピーター増加を促進します。	観光関連事業者向けに接客やおもてなし力向上の講座を開催する。	2. 概ね達成	状況の説明	観光関連事業者に対し接客やおもてなし等、テーマに沿った講師を招聘して直接学び体験し交流する講座、講演会を開催した。また、国・県・民間事業者が主催する講演会やセミナー等についても情報を共有した。	
		2 45421	関西以西をターゲットに観光客誘致キャンペーンを展開し、誘客に努めます。	大阪、広島、福岡をターゲットに観光キャンペーンや観光セミナーを開催する。	2. 概ね達成	状況の説明	ターゲット地域である関西以西と福岡都市圏においては、特に重点的にチラシ・パンフ等をイベント時に配布・送付し、ターゲット地域の旅行会社・メディア媒体等に対しては、直接訪問して観光キャンペーンを実施した。	
		3 45431	多様なメニューの商品化を目指しハード・ソフト両面での受け入れ態勢の整備を図ります。	観光の拠点施設におけるバス駐車場、トイレ、会議スペース等を整備する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	常設としてのハード面での整備はできていないが、本市の集客力のある主なイベント開催時には、臨時バス駐車場、臨時トイレ、会議スペース等を設置し、受け入れ態勢の整備を行った。	
		3 45432	歴史、文化、自然、景観、食、スポーツ、環境など、あらゆる観光資源を活かした観光メニューの開発に努めます。	新しい観光素材を探るのではなく、すでにある観光資源をブラッシュアップし組み合わせることにより着地型観光商品開発を拡大させる。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名市商工会・熊本県立大学・玉名観光協会と産学官連携による体験プログラム「旬たまWEEK」に着手し、「玉名市ならでは」の着地型観光商品を開発した。	
		3 45433	山間部や海岸部などの地域ごとの特色と産業を活かした体験型メニューも創出し、広域観光ネットワークの充実にも努めます。	健康志向の高まりに対応したウォーキングやトレッキング、また、県北唯一の海水浴場等の観光メニューを開発する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	既存のJRウォーキング、草枕ウォーキング、海水浴場開設の支援に加え、小岱山では初となるトレイルラン大会を開催。県と本市で初となるフットパスコース造成に向けた協議も行った。	
1 45441		各産業・各業種の団体などに対して観光協会への協力や加入を呼びかけ、幅広い視点をもった観光協会の充実を目指します。	観光関係のネットワーク化(観光関係団体との交流・連携、他地域の連携)、また、収益事業の一環として、法人格取得等協会の体制強化を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	玉名観光協会は、玉名市観光振興計画の主体的推進母体として、市内外の観光関係団体・民間事業者等との連携を強化するとともに、「信用ある持続可能な強い組織」を目指し法人格を取得。会員も年々増加しており、観光協会としての体制強化を図った。		

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)				
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内 容
5	1	健康づくりの推進	1	5	45451	玉名温泉観光旅館協同組合を中心に、観光協会、商工会議所、商工会、商店街などと一掃に活性化を推進します。	各観光団体において把握している観光素材を更に磨き上げるとともに、テーマを設定して各観光素材を組み合わせていくことにより、新しい着地型観光商品を開発する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 玉名市観光振興計画に基づいた組織である「玉名観光戦略会議」のメンバーに、各観光関係団体が参加しているため、開発した体験プログラムである「旬たみWEEK」に市全体で取り組めるよう協議した。
				5	45511	観光協会や温泉旅館などの関係団体と連携し、外国語表記のパンフレット作成や分かりやすい案内板などの整備を推進します。	多言語表記、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 インバウンド(外国人観光客)事業の受け入れ態勢の整備に着手するため、香港の旅行会社及び出版社へ観光トップセールスを行い、受け入れ側へ何が必要かヒアリングを実施。また、実際に香港から出版会社を招請し現地調査を行った。
				51111	支援が必要な方には、随時、保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携を取り、健やかに暮らせるよう調整支援していきます。	支援が必要な方に関係各課や関係機関等と連携強化を図り調整支援に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明 年々母子・成人などで、複合した問題を抱えたハイリスクの相談ケースが増えきており、随時、事例検討会等を実施し、関係機関と連携して調整支援した。	
				51112	保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携のしくみを充実させていきます。	市民には、その人に必要なサービスを調整支援し、ネットワークとしては、有明地域保健医療福祉連携会議や玉名市健康づくり推進協議会等の中で相互連携強化を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 個人の相談に応じて、随時関係機関と連携した支援を実施。広域のネットワークとしては、健康づくり推進協議会や、気になる子どもの支援会議等で相互連携を強化した。	
				51113	市全体では、健康づくり推進協議会、食育推進連携会議、有明保健医療福祉連携会議などの活用により、関係機関の相互連携を図り、健康づくりの輪を拡充します。	健康づくり推進協議会、食育推進連携協議会等を通して連携の輪を広げ、市民の健康的な生活を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 健康づくり推進協議会は、保健事業を円滑かつ効果的に行うための協議を行っている。情報の共有が図られ、関係者の連携が深まった。食育推進連携会議は食育推進の方向性や課題を共有し、関係者が役割分担しながら事業を展開している。	
				51121	「心身に障がいを持つ人とともに生きる地域づくり」を目指し、地域活動を推進します。	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	3. 進行中(後半)	状況の説明 広報やWEBサイト、ちらしを通じて啓発活動や周知を行った。また、障害者団体や障害者関係事業所等と連携に努めた。	
				51131	関係機関と連携して予防接種率の向上と安全な予防接種の体制づくりに努めます。	予防接種法に基づき関係機関と連携し、また対象者へ周知を図ることにより、適正および安全に予防接種ができる体制を整備する。	2. 概ね達成	状況の説明 ①予防接種法改正等により、玉名市医師会・委託医療機関を対象に説明会を開催し、過誤防止等の適正な予防接種実施への関係機関への周知を図った ②個人別接種予約システム管理し予防接種台帳として管理し、過誤防止に努めた ③予防接種対象者に広報・育児学級、育児相談、乳幼児健診・教育委員会の協力にて周知、啓発し接種率を上げた ④予防接種施設にあり、委託医療機関の広域化を図ることで接種の機会を幅を広げ対象者の利便性に努めた。	
				51141	幼児期からのフッ化物洗口による虫歯予防を推進します。	現在、玉名市内幼稚園・保育園26園中16園での実施。(61.5%)全国実施を目指し推進活動を行う。平成27年度中に全園・小中学校において導入を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成26年度にモデル小学校2校でフッ化物洗口を開始した。また実施していない園を巡回訪問しフッ化物洗口事業の説明を行った。乳幼児健診時に歯科衛生士による集団歯科指導時にフッ化物洗口事業の周知を図っている。	
				51142	壮年期における歯周病検診を実施します。	壮年期における歯周病検診を人間ドック、よい歯の広場、食育フェアにて継続的に行う。	2. 概ね達成	状況の説明 毎年、人間ドックの節目年齢(40・45・50・55・60・65・70)の方に歯周疾患検診を実施。またよい歯の広場(年一回玉名市医師会主催)、食育フェアで無料歯科検診を実施している。	
				51143	学校教育においては、児童・生徒の虫歯予防と健康教育を推進するため、食後の歯磨き習慣や必要に応じた虫歯治療を推進します。	すべての学校において健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を作成し、発達段階に応じた適切な保健指導を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成25年度にすべての学校で健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を作成した。それに基づき発達段階に応じた保健指導を行っている。	
				51151	食生活改善推進員は、随時食や健康に関する研修により技量を高め、地元地区での伝達活動を実施し、市民に食と健康の輪を拡充します。	市民一人ひとりが健全な食生活を実践できるよう、推進員が食を中心とした健康づくりを地域へ普及・推進するためのボランティア活動が、充実するよう支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 地域で食生活改善や食育活動が出来るよう、推進員を対象に学習会を開催し、継続した支援を行っている。	
				51161	家庭、保育所、幼稚園、学校、生産者、流通、消費者など多様な関係者との連携を深め、市民が食に関する正しい知識を身につけ健康的な食生活が実践できるよう取り組みます。	子どもから大人まで全てのライフステージにおいて、食に関する知識や理解を高めながら食べる力、生きる力を身につけ、実践できるよう、関係機関と連携、協力して食育を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 「第2次玉名市食育推進計画」に基づく食育推進事業を展開している。平成26年度に市民の食をめぐる現状を把握するため「市民食育調査」を実施した。調査結果は、次期計画策定の基礎資料とする。	
				51171	保健センターの機能を充実するため、安心して相談できる場の確保や支援するしくみと内容を充実するとともに、スタッフの質を向上します。	市民が安心して相談できるように各種事業における場の確保や周知、内容充実、スタッフの質の向上に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明 部屋の確保に関しては、玉名保健センターだけでなく各支所の保健センターや各施設を有効利用し、また家庭訪問を実施した。スタッフの質の向上に関しては、各種研修会の参加や自主学習会等自己研鑽に努めた。	
				51181	事務事業見直しを適宜行い、住民に直接関わることでできる保健師と栄養士の地区担当制を充実させ、笑顔に即応した保健活動を実施します。	母子から成人まで必要な対象者に迅速に丁寧に関わりが持てるように、対象者把握に努め対応できるように事務事業の見直しに努める。また、地区診断による地域ニーズにあった保健活動の充実を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 保健師・栄養士ともに地区担当制をとり、母子から成人まで、各事業を通して支援を必要とする方の把握に努め、緊急性を助産しながら、タイムリーで適切な支援を心がけ、市民が安心して生活できるよう援助した。	
				51191	気軽に相談できる体制づくりを強化し、相談支援事業所や関係機関などと連携をとり、心身の健康づくりを推進します。	既に着手している。今後も障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明 4事業所に委託し有明圏域で相談支援事業を実施している。また、毎月巡回相談を開催し、身近な地域で相談が受けられるよう努めている。今後も相談支援事業所と連携をとりながら進めていく。	
511A1	総合的に対応する相談体制の構築を図り、自殺対策を推進します。	既に着手している。今後も啓発活動や相談支援を充ち、自殺者の減少に取り組む。	3. 進行中(後半)	状況の説明 県の補助事業を利用して、臨床心理士による相談会を開催した。相談者の日常生活に関わる心配事に対応している。					
2	医療体制の充実	1	51211	県保健医療計画に基づき、有明保健所、管内救急指定病院、医師会、消防関係などとの連携を図り、夜間や休日の救急患者への対応体制の整備に努めます。	市民の健康と安心を確保するため、関係機関と連携し、夜間・休日の救急患者への対応体制の充実を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 有明地域の救急病院や公立病院の運営及び、玉名市医師会等への休日・夜間診療体制整備のための補助を実施した。		

後期基本計画に掲載されている事柄				平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)									
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)					
								項目	内容				
1	2 保健活動の推進	1 保健活動の推進	1	51221	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度の設立について関係機関に要望します。	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度を設立し医学生を確保できるよう関係機関に依頼する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成24年4月から玉名中央病院企業団において、医師として公立玉名中央病院に勤務し、本市の地域医療に貢献しようとする医学生を対象に修学資金の貸付事業を実施している。				
				51231	ターミナルケアの充実のための議論を深めます。	ターミナルケアの充実のため、公立玉名中央病院において議論を深めていただくよう、適宜、要請する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	公立玉名中央病院において、緩和ケア認定看護師を配置した化学療法室の設置やがん化学療法認定看護師の増員などが計画的に実施され、ターミナルケアの充実が図られている。				
				51232	公立玉名中央病院において、がんの治療法として手術や放射線治療と同様に非常に有効な抗がん剤の使用による化学療法の充実を公立玉名中央病院に要望していきます。	公立玉名中央病院において、がんの化学療法の充実を図っていただくよう、適宜、要望する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	公立玉名中央病院において、内科医を中心としたがん患者の緩和ケアチームの取り組みなどが計画的に実施され、がんの化学療法の充実が図られている。				
				52111	家庭訪問、健康診査、育児相談、母子保健推進員活動などを実施し、ケースに応じた保健指導・支援により母子保健の向上を推進します。	乳幼児が健やかに発育発達し、保護者が安心して子育てできるように、あらゆる母子保健活動の中で、保護者の育児力形成へつながる保健指導に努める。特に乳児訪問指導と各乳幼児健診受診率の向上・維持を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	育児環境の変化により、問題を抱える親子が増加しており、まずは各親子への個別の対応の必要性が増している。家庭訪問指導や乳幼児健診での個別対応を継続しており、今後より踏み込んだ支援を検討していく。				
				52121	総合計画、食育計画、次世代育成計画、特定健康診査等実施計画を含む「健康玉名21・健康なまちづくり計画」を策定します。	玉名市に住むすべての人が、心身ともに健康で自分らしく暮らせるよう、各ライフステージ毎のヘルスプランと、地域全体の健康度を上げるための地域づくり施策を盛り込んだ計画を策定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	健康玉名21(第二次)を策定し、玉名市に住むすべての人が、心身ともに健康で自分らしく暮らせるよう、各ライフステージ毎のヘルスプランと、地域全体の健康度を上げるための地域づくり施策を盛り込んだ計画となった。今後この計画を基に事業を実施していく。				
				52131	腎機能重症化防止を図り、慢性腎不全による透析導入への進行を阻止し、新規透析導入患者を減少させます。	人工透析導入への進行を阻止するため、慢性腎臓病(CKD)該当者への保健指導実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度末現在で、慢性腎臓病(CKD)該当者への保健指導実施率は51.7%(78人/151人)である。また、26年度は3回、地域の腎専門医の助言を得ながら保健指導スタッフ学習会を実施した。また、郡市医師会と連携し、CKD対策の取組を地域に啓発している。				
				52132	慢性腎臓病(CKD)に伴う循環器疾患(脳血管疾患、心筋梗塞など)の発症の抑制を図ります。	心血管系疾患(脳血管疾患、虚血性心疾患等)の重症化予防のため、高血圧・高血糖該当者への保健指導の実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度末現在で、Ⅲ度高血圧該当者に対する保健指導実施率は80.0%(32人/40人)、Ⅱ度高血圧該当者では65.4%(146人/223人)である。				
				52133	各ライフサイクルに応じた長期にわたり進行する腎疾患を早期に発見するために、生涯にわたり継続して予防できる体制を整備します。	胎生期(妊娠期)から生活習慣病を予防するため、妊婦健診結果から妊婦糖尿病、妊婦高血圧症候群、貧血該当者への保健指導の実施を図り、若人健診等へつなげる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	母子手帳交付時の聞き取りを通して、検査結果の説明や受診の必要性の説明を行った。また、健診を受ける機会がない親世代に対し、市で実施している若人健診、若人国保人間ドックの案内を実施した。				
				52141	特定健診などの受診率の向上を図ります。	生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため受診勧奨を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各種団体及び広報等のあらゆる機会を通して、受診の必要性の説明を行った。また、18～39歳の市民を対象に若人健診及び若人国保人間ドック、保健指導を実施し、生活習慣病の発症予防に努めた。				
				52142	がん検診などの内容の充実を図ります。	近年継続して死亡原因の1位を占めているがんを早期に発見し早期治療することで、手遅れによるがん死を防ぐため、より多くの市民への啓発を行い、受診率の向上及び内容の充実を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	健診対象者へ申込書の通知と広報したまの掲載、各種教室や健診の機会をとらえてがん検診の受診勧奨に取組んだ。また、子宮頸がん検診やクーポン対象のがん検診は大幅に検診期間を拡大し、受けやすい体制をとった。更に、これまで子宮頸がんや乳がん検診は隔年助成だったが、27年度から毎年度受診を受け安価で受けられるようになった。				
				52143	特定健診の新規受診者の掘り起しを積極的に実施します。	脳血管疾患死亡率の減少、虚血性心疾患死亡率の減少、糖尿病重症による新規透析導入患者数の減少のため、受診率の向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	H26年度特定健診受診率は、国の目標率(60%)・玉名市の目標率(45%)に対し、玉名市では32.8%(4828人/14735人)であった。				
				3 社会福祉の充実	1 子育て支援の充実	1 子育て支援の充実	1	53111	延長保育事業、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業などを推進します。	保護者の保育ニーズに対応し、延長保育や一時預かり事業を実施することで、子育てにおける負担軽減や仕事と子育ての両立支援を行う。就労等のため日中、保護者が家庭にいない小学生を放課後に学童クラブで預かり、適切な遊びと生活の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	延長保育事業は認可保育所20園中16園、一時預かり保育事業は5園で実施することができた。放課後児童健全育成事業は、21小学校区を12クラブで実施し、470人の児童が利用した。
								53121	(子育て支援の)情報発信や相談の窓口となる地域子育て支援センターなどを中心に、子育て支援団体などとのネットワーク化を推進します。	地域子育て支援拠点施設の活動を軸に、こそだでの会議の場を通じて子育て支援団体との情報の共有と発信を行うとともに、活動支援を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	こそだでの会議では、講師を招いて研修を行うなど子育て支援団体のスキルアップを図ることができた。
								53131	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業の充実を図ります。	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業について、さらにニーズに応じた内容の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	平成26年度病児・病後児保育について、一日の定員を5人から6人へ増員した。いずれの事業もニーズに応じた必要なサービスが提供できている。
								53141	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえた総合的な支援策の推進を図ります。	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえて、必要に応じた総合的な支援策の推進を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	ひとり親家庭が増加する中、児童扶養手当、ひとり親家庭医療費助成、資格取得のため養成機関に通学した場合の給付金制度のほかハローワークと連携した就労支援を行った。
53151	家庭児童相談・婦人相談事業などを通して、問題の早期発見やきめ細やかな対応を図ります。	家庭における適正な児童の養育その他家庭児童福祉の向上及び女性相談窓口の周知を図るため、民生委員児童委員等の説明会や広報等により相談体制の充実を図る。	8. 評価不能					評価不能の理由	婦人相談員(2人)による女性相談、家庭児童相談員(1人)による要保護児童相談で相談の支援体制を行っている。				
53152	家庭だけでなく、保育所や学校、地域社会においても、子育てのための環境整備を推進します。	地域子育て支援拠点を中心に、保育所や学校などと連携を図りながら、子育て環境の整備に努める。	8. 評価不能	状況の説明	市内中心部に子育て支援センターを1か所増設し、全6か所の延べ利用人数は36,780人であった。うち2か所の支援センターに子育てコーナーを配置し、子育てに関する相談等の総合窓口とした。また、子育て応援サイトまろぐを開発し、子育て支援情報の環境整備を図った。								

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)							
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 目 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)				
								項目	内容			
	2	障がい者 支援の充 実	1	53211	障がいのある方や家族が抱える相談に対応するため、有明圏域での相談支援事業や手話通訳者の設置を引き続き実施します。	既に着手している。障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	4事業所に委託し有明圏域で相談支援事業を実施している。また、相談支援事業所と連携を図り有明圏域の市町村を毎月巡回し相談会を開催している。週1回は本庁ロビーにおいて手話通訳者を設置している。			
				53221	各種福祉制度の適正な運用を図るため、「広報たまな」による周知や窓口照会への対応を徹底して実施します。	必要な福祉制度の情報を提供し、障がいのある人やその家族の暮らしを支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	広報や窓口等を通じて啓発活動を行っている。			
				53231	心身の発達に遅れや障がいあり、継続的な療育が必要な子どもや家族に対して、子どもの年齢に応じた総合的な療育指導や助言を行う取組を推進します。	既に着手している。今後も早期発見早期療育を推進する。	2. 概ね達成	状況の説明	乳幼児健診等を通じて早期発見につながり、関係各課と連携を取りながら早期療育につながるよう取り組んでいる。			
				53232	乳幼児期の保育や教育に携わるスタッフへの連続性ある支援体制の充実へ努めます。	保育所などにおいても、発達障害や気になる子が増えており、心理相談員を配置し、保育所などへの巡回相談や研修会、講座等を行い、スタッフの資質向上と支援体制の充実を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	各保育所に年3回の訪問を実施した。問題解決に向けての検討会を実施し段階的に園単体で検討会を実施できるような方法、手段を担当者へ移行しスキルアップを図った。また、必要に応じて研修会や講座を行った。			
				53241	法律などに則った福祉サービスなどを提供しながら、今後も福祉の向上に努めます。	障がい者やその家族の生活を支援するために必要な福祉サービスを提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	相談支援事業所をはじめ、関係機関と連携を取りながら、必要なサービスを決定し提供している。			
				53242	障害者住宅改修事業などにより、住宅の確保や在宅生活での自立支援を実施するとともに、介護者の負担軽減を図ります。	65歳未満で、重度の身体障がい者等がいる世帯に対し、住宅改修に必要な経費を助成することにより在宅での自立を促すとともに、障がい者の寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	障害の程度・内容に応じて必要な支援を実施している。			
				53251	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の権利を擁護するための施策を県と連携して推進します。	障がい者に対して正しく理解し、健全者とともに共同社会を築く。また、障がい者の基本的な人権が守られるよう関係者と連携を図りながら推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	成年後見人制度や権利擁護についての相談や啓発活動を実施している。			
				3	高齢者支 援の充実	1	53311	介護を必要とする高齢者が適正な介護サービスを利用できるように介護保険制度の情報提供などを積極的に実施します。	包括支援センターやサービス事業者のケアマネージャと連携を図り、広報や高齢者の集いで事業の周知などに努め、高齢者の生活を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	要介護認定や要支援認定を受けた高齢者に対して、介護サービス計画、介護予防サービス計画(ケアプラン)をたてるために必要な居宅介護支援事業者等の情報提供を行っている。また、制度改正に向け、お知らせを送付し利用者への周知を行う。
							53321	清掃活動、独居老人宅訪問、神楽などの伝統行事への参加などの地域貢献活動を実施する老人会は、補助金の支給により支援します。	老人クラブは地域貢献活動を中心に地域のために活動している団体であるため、補助金の支給を含め支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	91件の単位老人クラブに各クラブの活動費として補助金を支給を行っている。また、市老人クラブ連合会にも「ふれあいアンドヘルプ事業推進」や「健康づくり推進事業」等の全体活動のため、補助金を支給により支援を行っている。(平成26年度決算額:12,459千円)
							53322	個々の高齢者の経験や特技などを生かした就労の機会を提供するシルバー人材センターは、補助金の支給により支援します。	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、センター運営の安定化を図る。もって、高齢者雇用の充実を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	シルバー人材センターの運営安定のため、事業補助金を支給し、支援を行った。(平成26年度予算及び決算額:19,000千円)
	53331	介護の必要がない高齢者には、高齢者福祉事業などによる細やかな高齢者福祉サービスを提供します。	高齢者の生活や介護の悩み・相談に対処し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。				3. 進行中(後半)	状況の説明	高齢者が生活するうえで、必要なサービスを包括支援センターやサービス事業者のケアマネージャーと検討しながら提供。また、市のサービスの内容の周知を包括支援センター主催のケアマネージャーの会議等で行っている。			
	4	地域で支 え合う体 制の充実	1				53411	市の社会福祉協議会や民生委員・児童委員などにより地域による見守り体制と市の連携を進めます。	高齢者だけ(65歳以上)の世帯の情報提供。	1. 達成(完了)	状況の説明	民生委員・児童委員が高齢者への見守り活動を行えるよう65歳以上の世帯の情報を提供している。平成25年度達成済み。平成26年度も継続(提供済み)。
				53412	災害時要援護者に対する支援では、災害に支援を求めた高齢者や障がい者などの実態把握、関係各種団体との連携や調整に努めます。	民生委員・児童委員に玉名市災害時要援護者避難支援計画(個別計画)票を配布し、実態把握に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	要支援者に災害時要援護者避難支援計画に登録してもらうために、民生委員・児童委員が地域で推進計画を継続中。平成26年3月末登録者数1,500名余り。			
				53421	深刻な社会問題として近年急増し顕在化している児童虐待やドメスティック・バイオレンスを防止します。	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会による関係機関の連携を図る。	8. 評価不能	状況の説明	地域協議会では代表者会議、個別ケース検討会議を実施。児童相談の急増により個別ケース会議の開催も増え関係機関の連携が深まり体制が強化された。			
				53422	高齢者の虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	地域包括支援センター及び、介護保険サービス事業所・関係機関等との連携の強化により、虐待の防止と問題解決に向けた支援の構築を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	家族機能の低下及び、高齢化率の高まりに伴う、高齢者の経済的困窮による困難事例・虐待事例が増加すると予測される。専門性に基づく、支援解決と判断能力・迅速性が不可欠である。各機関との連携調整と市民への対応支援に努めていく。			
				53423	障がい者などの虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	総合福祉課内に障害者虐待防止センターを設置し、相談や対応を行っている。民生委員児童委員や警察署や保健所と連携して行うように協力依頼をしている。			
	53424	様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	様々な人権問題を常に把握し対応するために、熊本県市町村人権啓発推進協議会や法務局、人権擁護委員などと連携を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	熊本県市町村人権啓発推進協議会に加盟し、研修会に参加し、連携を図った。また、法務局・人権擁護委員との連携のため、くまもと県北人権啓発活動地域ネットワーク協議会玉名分科会に参加し情報の共有を図った。						
	53431	有償ボランティアによる移送サービスは、関係団体との調整を実施し充実へ努めます。	道路運送法及び道路運送法施行規則等の規定の範囲内で、NPO法人、社会福祉法人等運送主体の先も含め充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	現在、NPO法人1社が運航事業を実施。有償運送運営協議会を開催し、運航状況、利用者側の意見・課題等を協議し、有償運送サービスの向上を図っている。						

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)				
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
4 社会保障 の充実	1 介護保険 事業の充実	1 介護保険 事業の充実	1	53511	すべての施策を展開する基本的な視点としてユニバーサルデザインの考え方を踏まえます。	年齢や障がいの有無に関わらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインしていたるような啓発活動をおこなう。	3. 進行中(後半)	状況の説明	広報等を通じて啓発活動をおこなった。関係各課、地域の団体等と連携しながら努める。
				53512	関係が深い障がい者団体などからの参考意見を取り入れながら今後ともユニバーサルデザインを推進していきます。	多機能トイレ、使い勝手が良い自動販売機など年齢や障がいの有無に関わらず、だれもがさりげなく使えるユニバーサルデザインの推進を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	広報等を通じて啓発活動をおこなった。関係各課、地域の団体等と連携しながら努める。
				54111	高齢者のニーズに合わせて、地域密着型サービスなどの介護サービスの充実を図ります。	平成26年4月に地域密着型小規模多機能型居宅介護施設を1施設開設予定。平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者等のニーズに合わせて計画する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成26年4月に地域密着型小規模多機能型居宅介護施設を1施設、開設した。また、平成27年3月に策定した第6期介護保険事業計画により、施設の整備を図りニーズに対応していく。
				54121	地域支援事業(任意事業)などの充実を図ります。	高齢者の生活や介護の悩み・相談に対し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	包括支援センターやサービス事業所のケアマネージャーと連絡を取り、広報や高齢者の集会で事業の説明に努めている。
				54131	居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供します。	介護認定や要支援認定を受けた高齢者に対し、適宜、きめ細かな居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	施設サービスの入所待機者状況について施設と連携しながら情報提供してもらい調査を行っている。
				54141	「いきいきふれあい活動」や「介護予防体操」などの一次予防事業を実施し努めます。	高齢者の社会参加は、活動を行う高齢者自身の生きがいや介護予防となり、地域における支え合いの体制作りとなる。258行政区のうち、地区公民館がない所もあるが、H29年度開始予定の「介護予防・日常生活支援総合事業」推進のために今後も実施公民館増加を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成26年度末、「いきいきふれあい活動」101ヶ所、「介護予防体操教室」86ヶ所を実施。介護予防拠点整備事業を利用して5ヶ所を整備し、より多くの地区で1次予防事業を推進している。
				54142	虚弱な高齢者を対象に通所や訪問型の運動・口腔等機能改善のための二次予防事業を実施し介護予防に努めます。	参加者の機能向上のためのプログラムの実施により、できる限り要介護状態に陥らないよう努める。H29年度開始予定の「介護予防・日常生活支援総合事業」のため、事業組み換えが効果的に進めるように検討していく。	3. 進行中(後半)	状況の説明	特とく教室(通所型運動機能向上プログラム)を市内3か所で月4回11ヶ月実施。(1人あたり4ヶ月間16日)参加者154名。運動器項目の改善率55%。生活機能項目改善率16%。教室修了者に対し、社会参加継続のため地域の1次予防事業紹介や、月1回6か月の「おさらい会」を実施し108名の参加あり。
				54151	地域包括支援センターの機能強化と充実に努めます。	包括支援センターの機能強化を充実し、連携強化を図り、高齢者の生活の悩みや介護に関する問題解決に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名市包括支援センターとの連携により、高齢者の生活・介護に関する問題解決を図った。今後は、高齢者の増加に伴い平成25年度より一本化した包括支援センターの職員の機能強化・配置整備を図っていく。
				54211	医療費抑制のため、ジェネリック医薬品の推進、被保険者の健康医療に対する意識の高揚などを図ります。	ジェネリック医薬品差額通知書の送付及びジェネリック医薬品使用希望カードの配布により、ジェネリック医薬品の使用を促し医療費の抑制に努める。	4. 進行中(前半)	評価不能の理由	疾病やそれに伴う薬剤の種類等によりジェネリック医薬品に変更できないものもあり、変更するためには医師の判断が必要であり評価が困難であるが、継続して啓発していく。
				54221	受診率向上の取組を講じ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	特定健康診査の受診率を平成25年度40%、平成26年度45%、平成27年度50%、28年度55%と定め、申込方法等を見直し、受診勧奨の強化に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度特定健康診査受診率は、32.8%となり、数値目標の達成はできなかった。
				54222	保健師などによる健診事後指導を充実させ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	特定保健指導の実施率を平成25年度35%、平成26年度40%、平成27年度45%、平成28年度50%と定め、健診後の指導の充実を図り、早期治療、重症化予防に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成26年度の特定健康診査の保健指導実施率は76.3%となり、目標を大幅に上回る結果となった。
				54231	後期高齢者医療制度の円滑な事業運営を図るため、制度の周知に努めます。	毎月年齢到達者に対し制度説明会を開催し、制度内容を広報誌掲載やホームページ更新する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成20年4月の制度施行以降、継続して説明会を開催し、かつ、広報誌、ホームページに随時情報発信し、制度の周知徹底を図っている。
				54241	玉名市国民健康保険滞納対策事業実施要綱により、短期被保険者証や資格証明書発行時に、滞納者との接触の機会確保に努めるなどして収納率の向上を図ります。	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いでもらい、滞納者との接触の機会確保に努め、収納率の向上を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いでもらい、滞納者と接触し、納税相談等を行い、収納率向上に努めた。
				54311	年金制度の理解を深めるための情報提供や相談体制を充実し、制度の普及啓発を進めることで、対象者への適正な完全適用を目指します。	年金制度について更なる周知を図るため、広報誌掲載やホームページの更新をおこなう。また、ねんきんネットを活用した相談体制を充実させる。	1. 達成(完了)	状況の説明	年金制度について、広報誌等への掲載を行い、制度の普及啓発に努めた。
				5 大学を活かしたまちづくり	1 大学公開講座の活用	1	55111	九州看護福祉大学をはじめ包括協定大学での公開講座の積極的な活用します。	関係各課において、包括協定を結んでいる九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学の公開講座を活用する。
55112	大学講師を招いた市民ニーズに合った各種講演会などを開催します。	関係各課において、包括協定を結んでいる九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学をはじめとする大学講師を招いた市民ニーズに沿った各種講演会などを必要に応じ開催する。	3. 進行中(後半)				状況の説明	平成26年度は大学講師を招いた各種講演会の実施はなかったが、社会福祉演習や子ども教室等への講師派遣を要請した。	
55211	図書館、体育館、グラウンドなどの(九州看護福祉)大学施設の市民活用について、引き続き推進するよう要望していきます。	九州看護福祉大学に対して、市民のニーズに沿った大学施設の利用が円滑に図られるよう、必要に応じて大学に要望する。	6. 未着手				未着手の理由	九州看護福祉大学の施設利用については、各種団体や事業所及び個人の申請に応じて、体育館やグラウンド等が利用されており、大学への働きかけ等は行っていない。	

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)								
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)					
								項目	内容				
		3	交流事業の推進	1	55311	玉名の歴史、文化、観光などの地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進します。	玉名の地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進する。また、本市と九州看護福祉大学との連携協力に資するため大学への職員派遣を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 九州看護福祉大学の学生と市民の交流はイベント等への参加や出演、清掃等のボランティア活動により、図られている。 なお、平成26年度も本市より大学へ職員派遣を実施している。				
				2	55321	保健師学生の地域看護実習や市保健師の現任教育などを通して互いに連携し、保健師や保健サービスの資質向上を図ります。	保健師学生の地域看護実習及び現任教育等の研修会等を通して、保健師スキル向上と保健事業のあり方や方向性を見直し検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 熊本保健科学大学看護科学生実習を受け入れ、教諭や学生と意見交換を行った。 現任教育は、九州看護福祉大学等との連携によりスタッフの質の向上を図った。				
				3	55322	行政と九州看護福祉大学の連携事業として実施していた健康フェアは、本来の住民への健康・食育に関する啓発の場とするため、今後、内容検討を重ね、より多くの市民に有効な真の健康づくりを図ります。	より多くの市民が参加し、意識を高める健康・食育フェアとするため、内容・場所・啓発方法等検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成24年度から「第2次玉名市食育推進計画」に基づく「食」を中心としたイベントとして、会場を限定せず開催している。九州看護福祉大学の鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科の協力により、効果的な食育啓発事業の実施につながった。				
				6	みんなで進める協働のまちづくり	1	市民協働の推進	1	61111	市民参加や市民協働の推進に関する指針や条例などの制定を検討します。	市民参加や市民協働を推進するための条例等を整備し、実現に向けた施策展開を図る。	5. 着手	状況の説明 平成27年度から市民参加や市民協働のまちづくりを進めるために設置する自治基本条例検討委員会等について打ち合わせた。
								2	61112	市民の市政に対する意見や要望を把握するため、市長との意見交換を行う場の確保を図ります。	市長との意見交換の場を設け、単年度ごとに計画し、実施を検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成26年度は市長と語る座談会を3回実施した。市民と行政との直接話し合う場は必要である。
								2	61121	地域自治体を単位として地域協議会などを通じて協働のまちづくりを目指します。	協働のまちづくりの「よどころ」となる指針等を策定し、実現に向けた施策展開を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 現在策定を進めている「自治基本条例」に盛り込むことができないか、検討過程において各意見を精査することとなった。
								1	61211	新たな公共を担うNPOやボランティア団体などの市民公益活動を応援するため、「市民活動情報サイト『たまりん』」の活用を促進します。	「たまりん」の活用を促すとともに、各団体による情報発信件数を150件/年以上とする。また、「たまりん」へアクセスした件数は15000件/年以上を目標にする。	4. 進行中(前半)	状況の説明 平成26年度の情報発信件数は310件、アクセス件数は9,930件であった。
								2	61212	市民公益活動を応援するため、助成金制度の創設や公共施設の空きスペースを活用した市民活動センターの設置などの支援を検討します。	市民活動団体の意向を把握した上で、市民活動支援の拠点を設置する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 市民活動支援の拠点については、現状では強力な設置要望の意見はなく、今後も市民ニーズの的確な把握が重要である。
								2	61221	玉名21の星事業も含め、コミュニティ活動、地域づくり活動に対する支援のあり方を検討します。	玉名21の星事業の事業主体である各校区のまちづくり委員会も兼ねた市民活動団体について、市民福祉の向上に資する分野を中心に財政的支援制度の創設を検討する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成26年度から「キラリかやけ玉名づくり応援事業補助金」制度を創設した。
2	61222	地域内住民と関係団体がともに活動する「校区コミュニティ協議会(仮称)」を設置についても検討します。	「校区コミュニティ協議会」設置に向けて、市役所内の関係課と協議調整を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明 現在策定を進めている「自治基本条例」に盛り込むことができないか、検討過程において各意見を精査することとなった。								
2	61223	コミュニティづくりの拠点づくりとして既存施設の活用を推進します。	市民活動団体の意向を把握した上で市民活動支援の拠点を設置する方向で検討を進める際には、既存施設を優先して活用する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 市民活動支援の拠点については、現状では強力な設置要望の意見はなく、今後も市民ニーズの的確な把握が重要である。								
2	61231	薬草に関する情報発信や普及活動を積極的に実施する市民団体を支援します。	小岱山薬草の会をはじめ、上古閑探採委員会等の薬草を利活用した地域づくりを支援することで、商品開発等を促進し、独自性ある情報を全国に発信する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 小岱山薬草の会が開くイベント等への参加を通じて情報の共有を図っている。行政イベントや広報紙面、公民館講座等を通じて住民への薬草の普及や市内外への情報発信を実施。								
	2	人権啓発の推進	1	人権教育と人権啓発活動の充実	1	62111	地域や学校、家庭、職場などあらゆる分野において、各組織と協働し、人権啓発の推進に努めます。	今後も毎年度、市内の小中学校を中心に法務局、人権擁護委員と連携し、「人権の花運動」を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 梅林小学校において法務局、人権擁護委員と連携実施。花の種とメッセージを風船に付けて飛ばすときは、近所の住民等も参加。			
					2	62112	国、県や人権擁護委員など関係機関との連携を強化し、「玉名市人権教育・啓発基本計画」の推進と迅速且つ的確な対応ができるような相談体制の充実を図ります。	「玉名市人権教育・啓発基本計画」に則した市民の人権問題解決のための意識の向上を図ったり、人権問題があった場合、すぐに解決できるように法務局や人権擁護委員、庁内関係課とすぐ対応できるような体制をとる	3. 進行中(後半)	状況の説明 「玉名市人権教育・啓発基本計画」は、玉名市人権教育推進協議会総会時に配布して啓発を行った。相談体制においては、相談内容を確認し法務局へ依頼したり、3ヶ月に1回開催される人権相談を紹介した。			
					2	62121	人権教育と啓発活動の充実を目指して、市の広報紙やホームページなどを通じた啓発に努めます。	市のホームページに各人権課題に即した構成をして掲載し、また、人権問題解決のための内容を広報紙に掲載する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 市のホームページに人権問題(子どもや女性、障がい者など個別の事案に対する啓発)を掲載。ほかに法務局や県からの啓発に関する事項や3ヶ月に1回行う人権相談を広報たまにに掲載。			
					3	62131	人権問題への積極的な関心や態度、的確な技能などが日常生活の中で実践できるような啓発を推進します。	企業や地域において、人権問題に関心をもってもらい、人権問題解決のためのビデオを貸し出したり、要望に応じて啓発講座等を開催する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 企業内で従業員向けの人権問題啓発のビデオを貸し出した。			
					4	62141	毎年12月4日～10日までの「人権週間」の期間においては、より一層市民への啓発を図ります。	人権週間期間中の1日間、市内の要所において街頭啓発を行う。また、期間中啓発用の横断幕を設置する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 12月1日・2日にわたり、午前10時から午後3時まで人権相談を実施後、草花温泉てんすい、ゆとりーむ、ふれあいセンター、玉名駅において啓発のためのチラシ等を配布。他に人権週間期間中市役所前に横断幕を掲揚。			
3	3	男女共同参画社会の推進	1	男女共同参画社会の形成	63111	男女共同参画社会推進事業に関わる研修、相談業務、交流活動をはじめ、専門性の高い学習機会を提供します。	九州看護福祉大学との共催による講座の開催、県主催「男女共同参画地域リーダー研修」参加の推進。	3. 進行中(後半)	状況の説明 九州看護福祉大学との共催講座を5回実施。「男女共同参画地域リーダー研修」へ1名派遣。				

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)						
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
				2							
				63121	各種審議会などへの女性委員の登用を推進し、毎年女性登用状況調査と結果を公表します。	平成24年度末に策定した「第2次玉名市男女共同参画計画」に即して、平成29年度末までに女性委員の登用35%を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明 今年度末の女性委員等の登用率は25.3%であり、目標値へ近づきよう更なる啓発が必要。			
				63131	『玉名市女性人材リスト』の作成と積極的な活用を図ります。	玉名市に在住する女性の人材の発掘と各種審議会等への人材情報の提供を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 女性人材リスト登録者は18名。各種委員選任の際、リストの活用を図る。			
				63132	玉名市男女共同参画審議会、玉名市男女共同参画社会行政推進委員会により、男女共同参画社会の形成に向けた総合的企画と効果的な施策を推進します。	玉名市男女共同参画審議会により、男女共同参画社会の形成に関する基本的・総合的な施策などを調査審議し、玉名市男女共同参画社会行政推進委員会により、施策を総合的・効果的に企画し推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 男女共同参画審議会 3回開催 行政推進委員会 2回開催 行政推進委員会(専門部会) 4回開催			
				63141	平成24年度に『第2次玉名市男女共同参画計画』を策定します。	平成24年度に『第2次玉名市男女共同参画計画』を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明 男女共同参画計画の進行管理中			
				63151	「男女共同参画宣言都市」として周知することで、今後の更なる施策の推進を促し、男女共同参画社会の実現に向けた機運を醸成させます。	男女共同参画社会の実現に向けた機運を醸成させるため、「男女共同参画宣言都市」を周知し、男女共同参画を推進する体制作りに取り組む。	6. 未着手	未着手の理由 市民の男女共同参画に関する意識は、未だ高揚しておらず、次期尚早と見受けられるため。			
				63152	(男女共同参画社会づくりについて)講演会や講座や広報紙などを活用した啓発活動を実施することで、広く市民への理解を得られるよう努めます。	男女共同参画社会づくりについて広く市民への理解を得られるよう、引き続き、講演会、講座、広報紙などによる啓発を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 啓発講座等 11回開催 男女共同参画フォーラム 1回開催 広報紙 12回掲載			
		2	男女共同参画センターの開設	1	63211	男女共同参画社会推進のための機能的な拠点施設を確保します。(男女共同参画センターの開設を除く。)	庁舎移転に伴い、拠点施設の位置や規模等について平成28年度末までに具体的な検討を行う。	5. 着手	状況の説明 場所、規模等の検討を行い、他の施設との複合も視野に入れて検討することとした。		
					63212	男女共同参画センターの開設を目指します。	平成29年度末までに男女共同参画センターを開設する。	6. 未着手	未着手の理由 旧庁舎跡地利用や他の公共施設の見直しについての方針決定後、着手予定。		
		4	情報公開の推進	1	情報公開の充実	1	64111	インターネットによる議会映像の放映を推進します。	市民の市政への参加意識を高め、また、議会をより身近なものとするよう、インターネットによる議会映像の放映を実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成19年度から本会議の議会映像のインターネット放映を行っている。平成27年1月の新庁舎移転後、委員会の放映も行っている。そのため、達成済みとみなす。
					64121	情報公開請求には素早い対応を図ります。	公文書が容易に把握できるような仕組みを構築し、また、情報公開事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	5. 着手	状況の説明 保存文書台帳を作成し、各課において公文書の保存状況を把握できるようにした。また、平成26年度に入庁した新人職員に対し、情報公開事務についての研修を実施した。		
					64131	議事検索システムの構築により、事務の効率化を図ります。	使いやすさや解りやすさの議事検索システムの構築により、事務の効率化を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成10年2月にシステムを構築し、平成24年2月より庁内LANIによる議事録検索システムにバージョンアップし、事務の効率化を図っているため、達成済みとみなす。		
		2	個人情報保護対策の強化	1	64211	個人情報の収集や利用にあたっては、利用目的を明確に説明するとともに、原則として、本人からの事前の同意を得ることとします。	個人情報については、住民票・戸籍の発行や住民異動などは原則として本人申請となっています。未申請が可能な場合には本人からの委任状の提出を求めていきます。また、委任状による代理人の確認も常に行なっています。	3. 進行中(後半)	状況の説明 証明発行等に必要の本人確認作業の強化。また、代理人申請の場合に委任状の提出についても徹底して個人情報の保護の強化を行っている。		
					64221	個人情報保護を更に推進するために、適切な取り扱いを徹底し、個人情報保護意識を強化します。	個人情報保護事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	5. 着手	状況の説明 平成26年度に入庁した新人職員に対し、個人情報保護事務についての研修を実施した。		
		3	行政情報発信の充実	1	64311	広報紙は、行政情報だけではなく地域の話題なども盛り込むように努め、市の情報発信力を高めます。	現在の毎月2回、1日と15日号の広報紙を発行している。しかし市民への簡素で確実な行政情報を市民へ提供し、情報集約化を行うため、月1回(1日号)の発行を目指し、さらに市民へわかりやすく工夫を凝らした広報紙を作成する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成27年度から月1回発行にすることになり、平成27年2月15日号、平成27年3月15日号の「広報たまな」に記事を掲載し周知を図った。月1回になってもこれまで以上に紙面を充実させ情報発信に寄与する。		
					64321	ホームページは、効果的かつ利便性を重視した情報発信を推進します。	総務省のホームページのガイドラインをふまえて、さらに工夫をこらし、ホームページの100万アクセス数を超えるよう努める。また平成27年のホームページリニューアルに伴い、市内外からの閲覧者に対してさらに魅力ある情報発信となるよう作成する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成27年3月1日にホームページのリニューアルを行いスマホやタブレットPCなどすべての端末にも対応することができた。平成26年度のトータルアクセス数は約219万を超え予想を上回った。		
					64322	記事を作成する職員の意識と技術の向上に努めます。	ホームページの記事作成に関する基礎研修などを、毎年、ホームページ委託業者を講師に迎え、関係職員の研修を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成27年2月に4回に分けてホームページの記事作成に関する基礎研修を行った。		
		5	行政運営の効率化	1	健全な財政の運営	1	65111	自主財源の一層の確保を図り、行政評価と予算編成を連動させることにより予算の適正な執行と事務事業の見直しを実施します。	計画期間中(平成24～平成28年度)財政構造の改善を行い、財政健全化を推進する。 【目標の設定】 経常収支比率:各年度90%以下	3. 進行中(後半)	状況の説明 市有財産の売却等による自主財源の確保や市債の繰上償還による公債費の縮減、事務事業の見直しによる経常経費の削減を実施中。 経常収支比率:H26年度は現時点では未確定(参考)H24年度 89.7%、H25年度 89.2%
					65112	中長期的な展望に立った施策の推進に取り組み健全な財政の運営を図ります。	計画期間中(平成24～平成28年度)長期財政見直しを作成し、普通建設事業の計画的な実施など中長期的な展望に立った財政運営を行う。 【目標の設定】 長期財政見直しの作成:各年度更新	3. 進行中(後半)	状況の説明 普通建設事業の計画的な実施など中長期的な展望に立った財政運営を行うため、平成26年11月に長期財政見直しを更新した。		

後期基本計画に掲載されている事柄					平成27年度調査事項 (H26年度末の状況)				
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H26年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H26年度末現在)	平成26年度末の進捗状況の説明 (H26年度末の実績、未達等・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			2	65113	基金を計画的に運用し健全な財政の運営を図ります。	計画期間中(平成24～平成28年度)基金の計画的な運用を行い、財政健全化を推進する。 【数値目標の設定】 財政調整用基金残高が標準財政規模に占める割合:各年度20%以上	3. 進行中(後半)	状況の説明 将来の財源不足に対応するため、取崩し額を最小限に抑えるとともに、可能な限り積立てるなど計画的な運用を行っている。	
		行政経営の推進	1	65211	総合支所から支所への移行を検討し、住民にわかりやすい本庁と支所組織の機能のあり方を検証します。	平成24年10月に総合支所から支所に移行し、従前の行政サービスの水準が低下しない機能性や効率性等の面を十分に検討した組織へと再編する。また、本庁と支所間の所掌事務の適切な分掌を行うとともに、第2次定員適正化計画で定める職員の削減数を着実に達成する。	1. 達成(完了)	状況の説明 支所移行時及び移行後に、本庁各課への業務集約や関連予算の一元管理を終えるなど、支所業務と本庁業務が明確化された。また支所窓口業務への民間委託導入によって支所職員数が適正化されるなど、第2次定員適正化計画上の平成27年度目標定員数を5名上回る成果を得た。	
			2	65221	行政評価の効果的な活用のため、事務事業の成果を客観的に検証することにより経営意識の向上を図ります。	昨年度の試行運用を経て24年度から本格運用し、評価の対象とされる全ての事務事業について、事後評価を実施する。事前評価は、従前どおり、事業費下限額を上回る全ての事務事業を対象に実施する。更に職員の経営意識を向上するために、市民意識調査等の外部評価の導入を検討する。	2. 概ね達成	状況の説明 評価対象となった事務事業の全てを事前及び事後評価したが、評価レベル向上の余地ありと言える。行政経営の職員意識の改革のために、25年度に導入した市民意識調査以外の手法として、外部評価制度を導入することとし、この制度設計を概ね終えることができた。	
			3	65231	職員は、採用後の一定期間に幅広く各行政分野を経験させます。	計画期間中も、これまで同様、入庁後ある程度の期間までは、基本的に3年を一つのサイクルとして人事異動を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明 概ね3年を目途に人事異動を行っている。	
				65232	県などとの人事交流を進めるなど計画的な人事配置や人材育成を実施します。	他の自治体や団体への派遣や人事交流を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 人事交流や派遣は毎年コンスタントに行っている。	
			4	65241	電子入札の導入に取り組みます。	電子入札の導入は、システム導入の経費と業者への導入調査結果などを十分に検討したうえで、平成27年4月をめどに導入する。	1. 達成(完了)	状況の説明 電子入札システムの導入及び既存システムの改修を行い平成27年4月より公共工事等入札業務を電子入札により行えるよう整備した。	
				65242	価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式の実施に努めます。	公共工事の品質確保を図るために価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式を対象案件がある場合に適宜実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 総合評価方式を採用すべき案件はなかった。	
		職員の計画的な人事配置と育成	1	65311	合併後の10年間は、退職者数の3分の1を新規採用しながら、定員の適正化を図ります。	職員の新規採用は、平成28年4月までは、退職者数の3分の1とする。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成27年4月1日現在、職員数は514人(再任用短時間、任期付職員を除く)であり、定員適正化計画(522人)以上の進捗状況である。	
			2	65321	『人材育成基本方針』に基づき、引き続き職員の能力開発を積極的に推進します。	職場内研修の推進と職場外研修の充実を図り、自己啓発への支援を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明 職場外研修を充実させており、結果として間接的に職場内研修の推進や自己啓発の意欲向上に繋がっている。	
				65322	人事評価の結果を適材適所の人事配置や公正な処遇につなげることで、職員の意欲向上と個々の能力・組織力の向上を図ります。	人事評価の結果を職員の公正な処遇や意欲向上につなげるために、結果の活用方法について引き続き検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 人事評価は平成24年度から本格実施しており、平成28年度から昇任の1要素として活用することとなっている。	
				65323	住民ニーズ、政策課題、職員構成などの変化に柔軟に対応するため、適宜、効果的職員研修を実施します。	階層別の基礎研修や選択研修など、今後も研修全般に注力し、内容の充実を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 研修事業は新任研修を熊本市町村職員研修協議会に委ね、本市では現任研修を行うこととしているため、飛躍的に対象者数が増加している。	
		行政施設の整備と有効活用	1	65411	財政的に有利な合併特例債の適用期限である平成27年度までの完成を目標に新庁舎の建設を推進します。	平成25年度は庁舎本体の建築工事に着手し、敷地の造成工事を行う。平成26年度は、12月までに本庁舎・外構工事完了し、平成27年1月の新庁舎での移転開庁を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明 予定していたスケジュールどおり、事業は完了した。	
				65412	本庁舎の跡地は、これまでの検討結果を参考にし、有効な活用策を検討します。	関係部署職員で構成する庁内検討組織を24年度中に設置し、約1年の検討期間を設け、効果的、効果的に有効な活用策を市長に提案する。また、平成26年度には、五名市本庁舎跡地等活用検討委員会を設置し、本庁舎跡地及び建物の有効活用についての活用基本方針と具体的な活用策を市長の諮問に基づき答申を得る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 学識経験者や市民の代表15名による検討委員会を組織し、旧庁舎跡地9,017㎡の利活用案の方向性についての答申が市長にされた。その答申に基づき平成27年度に庁内に構想検討委員会を立ち上げ基本構想案を策定する。	
			2	65421	各総合支所は、市民サークルやボランティア団体などが実施する事業の拠点施設として提供するなど、有効利用を図ります。	本庁機能等、業務の集約によって発生した支所庁舎の余裕スペースには、行政機能の集約の可能性を検討するほか、公共的団体などへの貸付けなどの利活用を今後も進め、遊休財産や未利用財産については、五名市普通財産の利活用に関する要綱に基づき、貸付けや売却を検討し、維持費の軽減や自主財源の確保を図る。	5. 着手	状況の説明 公共的団体へ支所庁舎の余裕スペースを貸付けるほか、五名市普通財産の利活用に関する要綱に基づき、遊休財産の貸付け、売却などを行っている。	
			3	65431	『公共施設マネジメント白書』を作成します。	用途毎に分類した市保有の公共施設(約120施設)を対象に、各施設に関する実態を分析、評価し、課題や問題等を白書として、平成23年度末までに整理する。この白書を24年度に策定予定の適正配置計画の基礎資料として活用する。	1. 達成(完了)	状況の説明 20用途別に類型化した各施設の施設稼働率や投入コストの評価と分析を行い、それぞれが抱える課題・問題等の実態が整理された「マネジメント白書」は予定どおり平成23年度末に策定し終えた。	
				65432	平成24年度までに『公共施設配置計画』を策定し、適正な配置と整備を推進します。	今後の公共施設の適正配置を考えていくための基本的な方向性についての検討組織である検討委員会を設置し、市に建議される内容を十分に踏まえた適正配置計画を24年度末までに策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成23年度に策定した「マネジメント白書」を基礎資料として用い、対象とした「公共施設配置計画」を平成24年度末に策定し終えた。なお、策定に当たっては、有識者をはじめ、地域や関係団体の代表者で構成する検討委員会を設置し、専門的で全体的な見地からの検討がなされ、市に対し検討委員会から建議書が提出された。	